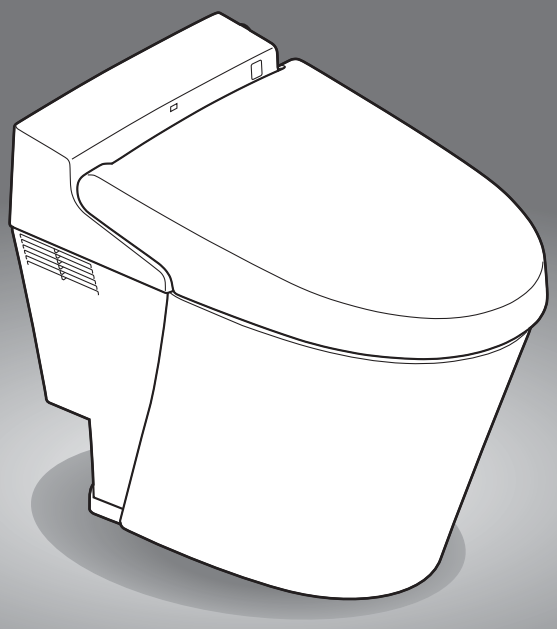
LIXIL

Shower toilet

取扱説明書 | 保証書別添 |

サティスSタイプ | DV-S628 型 ,DV-S626 型 ,DV-S625 型 | DV-S618 型 ,DV-S616 型 ,DV-S615 型

シャワートイレは、高齢の方、お体の不自由な方、
ご病気の方、小さなお子さまも、
おひとりでご使用になるものです。
しかも肌に直接触れます。
万が一の事故を未然に防ぎ、安全に、
快適にお使いいただくために、
必ずこの「取扱説明書」をよくご覧ください。



■ 必ずお読みください
○安全上のご注意 …… 1
■ 故障を防ぐためのご注意
○お取り扱い上のご注意 …… 6
■ 最初にお読みください
○各部のなまえ …… 9
○ご使用前の準備と確認
①止水栓を開く …… 10
②電源を接続する …… 10
③リモコンの【止】ボタンを押す …… 12
④流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す …… 12
⑤シャワーを出す …… 12
⑥温度を調節する …… 13
⑧時計を合わせる …… 14
○機能の紹介 …… 15
■ ご使用方法
○一般的な使い方
①便器の前に立つと、前フタが自動的に開く …… 17
②自動的に脱臭が作動する …… 17
③シャワーで洗う …… 18
④温風で乾かす …… 20
⑤便器を洗浄する …… 21
⑥便器から離れると便フタが閉じる …… 22
○便利な使い方
イオンで快適 …… 23
節電 …… 25
足元を明るく / 室内を暖める …… 26
音楽を聞きながら …… 27
もっと快適に …… 29
スマートフォンの操作 …… 31
■ 知っておけば便利で安心
○知っておいていただきたいこと …… 33
○こんなときは …… 35
○停電・断水したときの便器洗浄のしかた …… 36
○凍結しそうなときは …… 37
○長期間使用しないときは …… 39
■ お掃除・お手入れ方法 …… 41
■ 故障かな？と思ったら
○修理を依頼する前に …… 55
■ 安全・安心にお使いいただくために …… 68
■ アフターサービス …… 70
■ 仕様 …… 72
■ 別売品のご案内 …… 73
■ 重大事故防止のためのお願い …… 裏面

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

❖ 安全上のご注意・必ずお守りください

1～5ページに示した警告と注意は、状況によって重大な事故に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

★工事店様へ　貴店名ならびに取付日を同梱の保証書にご記入の上、お客さまへお渡しください。

プラ
袋:PE

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく恐れがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告	注意
この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容を示します。	この表示を守らず誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負うまたは物的損害のみが発生する恐れが想定される内容を示します。

⚠ 警告

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電の恐れがあります。

指示実行

電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて乾いた布でふき取る。
※ 電源プラグにたまったホコリにより火災の恐れがあります。

禁止

●AC100V 以外では使用しない。
●タコ足配線はしない。
※ 火災の原因になります。

禁止

電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、狭み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。

指示実行

電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災の恐れがあります。

禁止

ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 感電などの原因になります。

指示実行

シャワートイレ本体、電源プラグやコードが故障（異音・異臭・発煙・高温・割れ・漏水）した場合、ただちにコンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉め、修理を依頼し、故障したまま使用しない。
※ 感電・火災・漏水の恐れがあります。

⚠	禁止	指示実行
この表示は「注意しなさい！」の記号です。（左記の『警告』、『注意』と併記して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）	この表示は、してはいけない「禁止」の記号です。	この表示は、必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

⚠ 警告

指示実行

化学療法を受けている方、免疫不全症の方など、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けている方は、使用に際し医師に相談する。

※ 身体への著しい障害をまねく恐れがあります。

指示実行

長時間使用するときや、次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

乾燥を長時間使用するときや、次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

指示実行

電池は以下のことを守り、正しく使用する。

- ⊕⊖を正しく入れる。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 使い切った電池はすぐに器具から取り出す。
- 電池を破棄するときは、テープなどで絶縁を行う。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

- 乳幼児の手の届く場所には置かない。

※ 誤って飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 電池液が身体に付着したときは、水でよく洗い流す。
- 液が目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗う。

※ 失明の恐れがあります。医師に相談してください。

禁止

電池を取り扱うときは、以下のことはしない。

- 金属製のもの（ネックレス・ヘアピンなど）と一緒に持ち込んだり保管しない。
- 新しい電池と古い電池や種類の異なる電池を一緒に使用しない。
- 過熱・分解したり、水や火の中に入れない。

※ 電池の液もれにより火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 警告

水場使用禁止

バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。

指示実行

凍結の恐れがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。
（☞ 37 ページ）
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。

禁止

微弱な信号を取り扱う電子機器・医療機器を近くで使用しない。
※ 誤作動などの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。当該の医療機器メーカーおよび販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示実行

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

⚠ 注意

指示実行

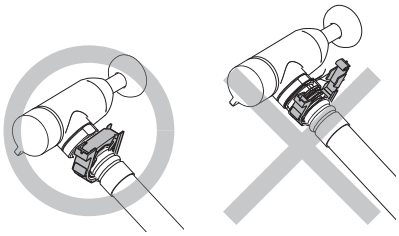
プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

禁止

便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は使用しない。
※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。

指示実行

クリップは給水ホースに、確実にはまっていることを確認する。
※ はまっていないと給水ホースが外れ、漏水する恐れがあります。



禁止

給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

水道水以外に接続しない。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

禁止

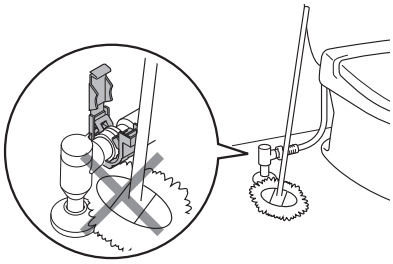
便フタや本体の上に乗らない。
※ 破損してケガをする恐れがあります。

禁止

止水栓に手をかけたり、乗ったりしない。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

禁止

お掃除のときなどに、クリップに衝撃を与えたり、引っ掛けない。
※ クリップの破損などにより給水ホースが外れ、室内浸水の原因になります。



火気禁止

タバコや灰皿などの火気類を近づけない。
※ 火災の恐れがあります。

接触禁止

便器の陶器部にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部には絶対に触れない。
※ 破損部でケガをする恐れがあります。早めに交換してください。

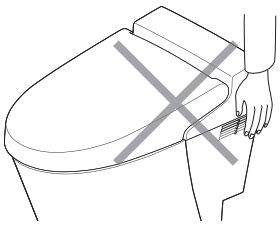
⚠ 注意

禁止

便フタにもたれない。
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

禁止

〈部屋暖房付の場合〉
●温風吹出口に触れない。
●温風吹出口の前に燃えやすい物を置かない。
※ 高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。



禁止

電動下降中は本体と便器の間に手を入れない。
※ 手を挟んでケガをすることがあります。

禁止

便器に熱湯を注がない、また衝撃を与えない。
※ 破損部でケガをすることがあります。
※ 破損や漏水の恐れがあります。

指示実行

定期的に配管の周りを見て水漏れがないか確認する。
※ 部品の劣化・摩耗などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害の恐れがあります。

指示実行

長期間使用しない場合は、水抜き操作を行い、電源プラグをコンセントから抜く。（☞ 39 ページ）
※ 凍結破損により火災・室内浸水の恐れがあります。
※ 水が汚れて皮膚の炎症などをおこす恐れがあります。

指示実行

お掃除のときには必ず電源プラグをコンセントから抜く。
※ 感電の恐れがあります。
（ノズル掃除や電動お掃除リフトアップ機能を使用する場合は、電源を入れた状態で行ってください。）

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が転倒に注意する。
- お子さま
- お年寄り
- ご自分で座ることや立ち上がることができない方

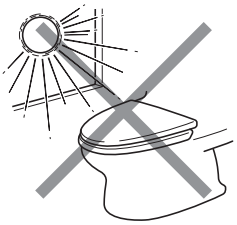
※ ケガをしたり、破損したりすることがあります。

指示実行

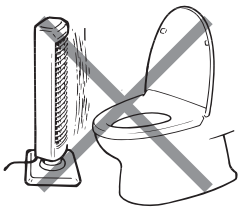
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

お取り扱い上のご注意

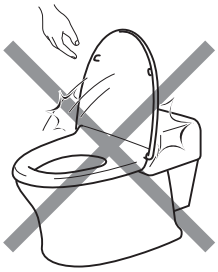
直射日光が当たらないようにしてください。
※ プラスチック部が変色することがあります。
※ リモコンや人体検知センサーの作動不良の原因になります。



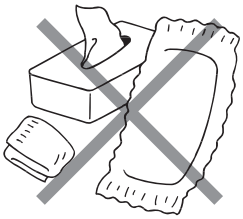
シャワートイレ本体や付属品にストーブやヒーターなどを近づけすぎないでください。
※ 変色や故障の原因になります。



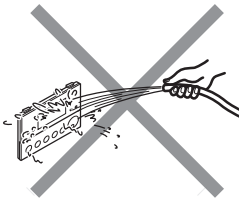
便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※ 割れたり漏電など故障の原因となることがあります。



トイレットペーパー以外の紙を使用したり、便鉢に配管が詰まるような異物を落とさないでください。
誤って落とした場合は、水を流す前に拾いだしてください。



リモコンに水や洗剤をかけないでください。
※ 故障の原因になります。



万一詰まった場合には、市販の吸引器（商品名：ラバーカップ）を使って取り除いてください。
詰まったまま水を流さないでください。
※ 便器から汚水があふれて、床を汚すことがあります。

プラスチック部にトイレ用消臭剤をかけないでください。
かかった場合は、すぐにふき取ってください。
また、ヘアスプレーなどをご使用の場合は、室内に成分が留まらないよう、十分な換気を行ってください。
※ 光沢がなくなることがあります。
※ 故障の原因になります。

本体・便座・便フタなどのプラスチック部を乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。
詳しいお手入れ方法は 41 ページをご覧ください。
※ キズがつき光沢がなくなることがあります。

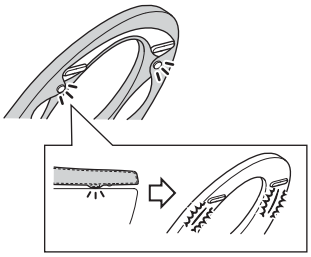
〈部屋暖房付の場合〉
絶対に温風または暖房の吹出口をふさがないでください。
※ 故障の原因になります。

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※ 故障の原因になります。

お取り扱い上のご注意

不適切な便座カバーを取り付けないでください。

※ 他社市販品のご使用にあたっては、当社では責任を負いかねます。お客さまの責任でご判断ください。
※ 便座カバーのボタン部分と便器とがぶつかり、便座が割れることがあります。
※ 着座センサーにカバーが掛かり、着座センサーが入りっぱなしになります。これにより脱臭ファンが回りっぱなしになったり、便座が冷たくなることがあります。
※ カバー類をまき込み、便フタが開ききらず倒れてくることがあります。



汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1 回の洗浄で完全に流れきらずに残ることがあります。
大洗浄で 1 度に流すトイレットペーパーの量は 5m 程度を目安にしてください。
トイレットペーパーの量については JIS 規格を参考にしております。

バリウムなど、水に溶けにくく重いものは 1 度の洗浄では流しきれない場合があります。
完全に流せない場合は便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。

スマートフォンとの通信、無線方式リモコンについて

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

■ 機器認定

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- 本機内蔵の無線装置を分解 / 改造する
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがす

■ 使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■ 電波を使う機器から離す

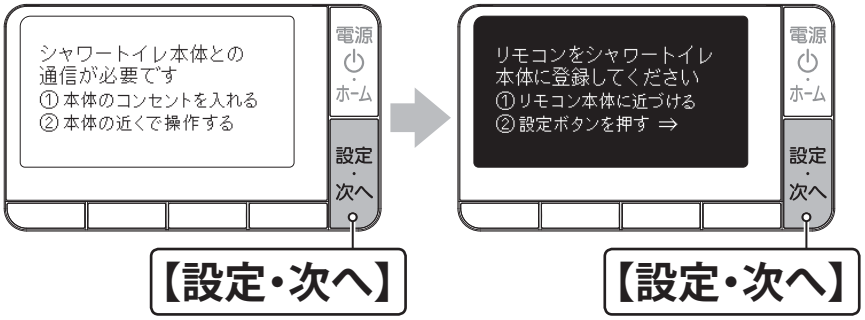
電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。

- 電子レンジ
- 無線 LAN 機器
- スマートフォン以外の Bluetooth® 対応機器
- その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の近く（デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
- 埋込型除細動器 (心臓ペースメーカー) を装着されている方は、埋込部位の 22cm 以内にリモコンを近づけないでください。

■リモコンの登録

すでにリモコンがご使用できる場合は、登録は必要ありません。
リモコンで操作できない場合は、以下の手順にしたがってリモコンの登録を行ってください。
本体の電源が ON になっていること、リモコンに電池が入っていることを確認してください。

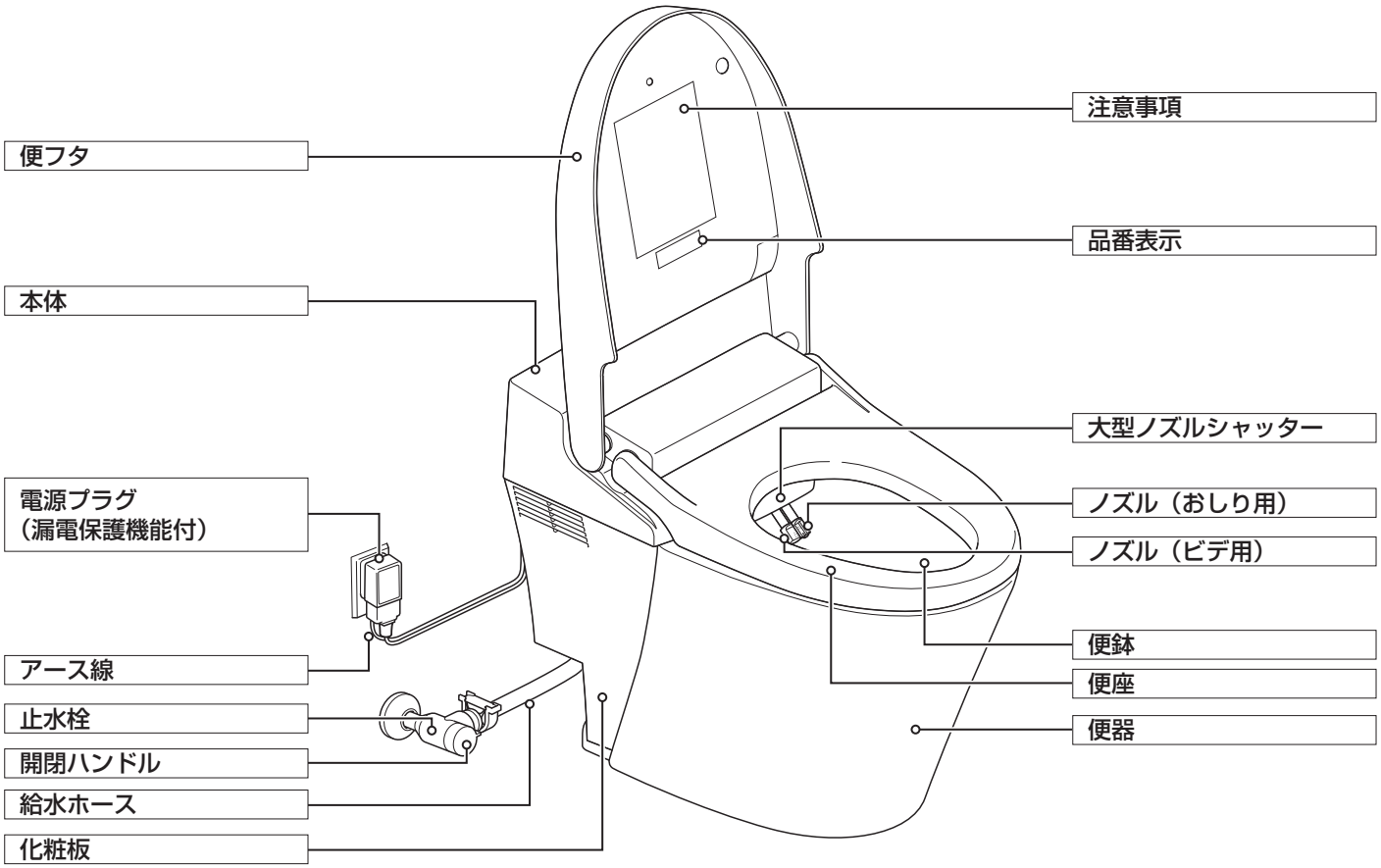
1 リモコンをシャワートイレ本体に近づける
2 【設定・次へ】を押す
3 図のように画面が変化したことを確認し、【設定・次へ】を押す



各部のなまえ

全体図

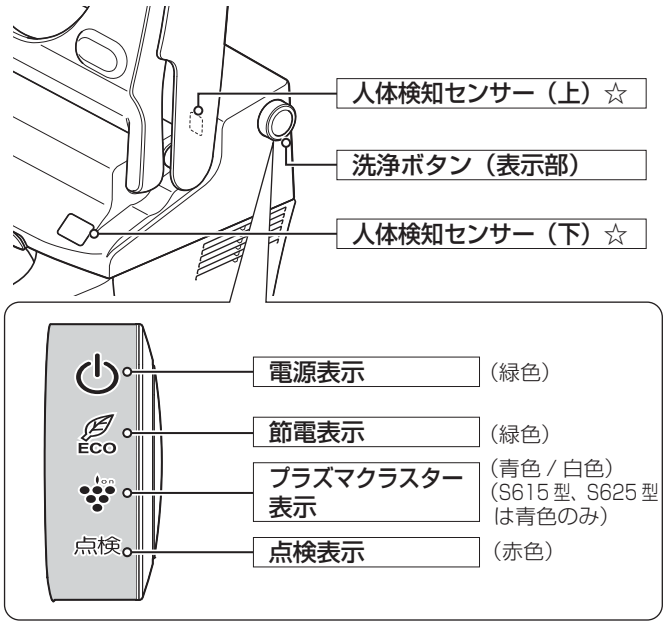
※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



※操作は、リモコン操作のみになります。

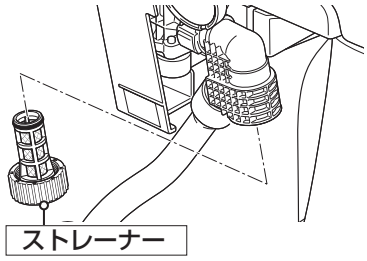
洗浄ボタン（表示部 / 受光部）

〈本体向かって右側面〉



ストレーナー

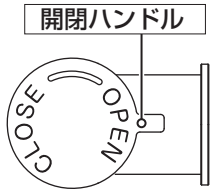
〈本体左側面 化粧板内部〉



※ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。

※ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてから外してください。
外すときは少量の水がこぼれますので、布などを下に置いてください。
（☞ 53 ページ）

止水栓



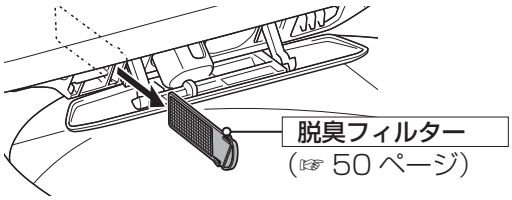
※止水栓の開閉ハンドルは便器への洗浄水を止めるときに使用します。必ず全開でご使用ください。

ご使用前の準備と確認

※ シャワートイレをはじめて使用される前に、必ず以下の項目を確認してください。

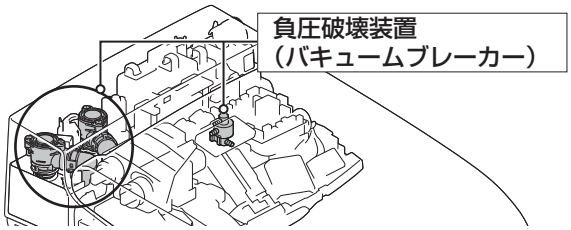
脱臭フィルター

〈ノズルシャッター内〉



※イラストは、ノズルシャッターを開いた状態です。(☞ 48 ページ)

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）

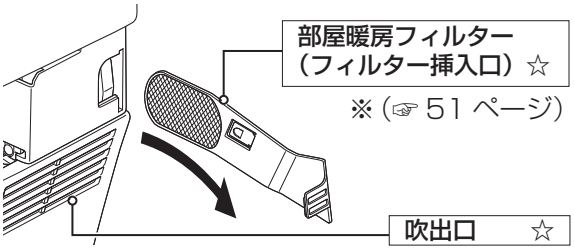


※ バキュームブレーカーは、本体に内蔵されています。また、定期的な点検が必要です。(☞ 71 ページ)

部屋暖房吹出口 ☆

〈本体向かって右側面〉

※イラストは、お掃除リフトアップした状態です。(☞ 45 ページ)



⚠ 警告

アース接続

アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。

※ 感電などの原因になります。

⚠ 警告

禁止

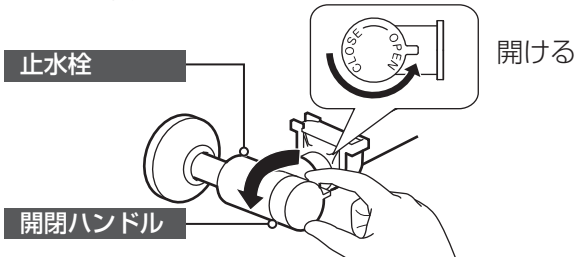
- **AC100V 以外では使用しない。**
- **タコ足配線はしない。**

※ 火災の原因になります。

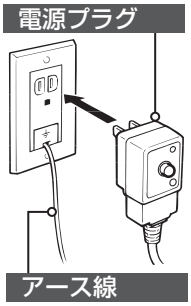
STEP 1 止水栓を開く

※「止水栓」が閉まっている場合は、反時計回りに回して開けます。

※開閉ハンドルが回しにくい場合は、乾いた布などでつかんで回してください。

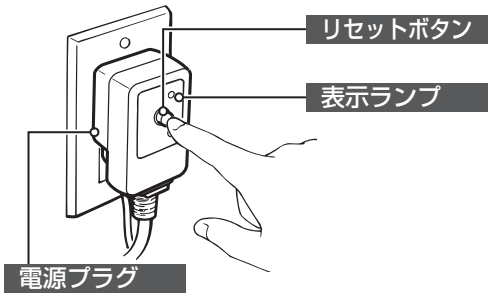


STEP 2 電源を接続する



- **「アース線」をアース端子に接続する**
- **「電源プラグ」をコンセント（AC100V）に差し込む**

※本体表示部の「電源表示」（緑色）の点灯を確認してください。
「電源表示」が点灯しなかった場合は「電源プラグ」の「リセットボタン」を押します。
それでも点灯しない場合は、リモコンの【電源】を押してください。

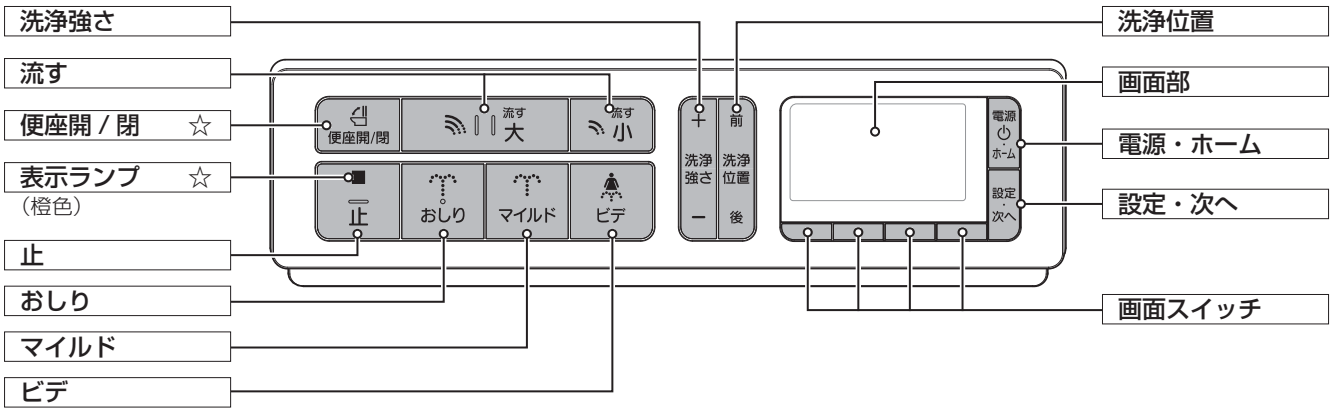


※「電源プラグ」には、シャワートイレ内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。
電気を遮断すると表示ランプが点灯します。
（通常は消灯しています。）

[注意]
- 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。

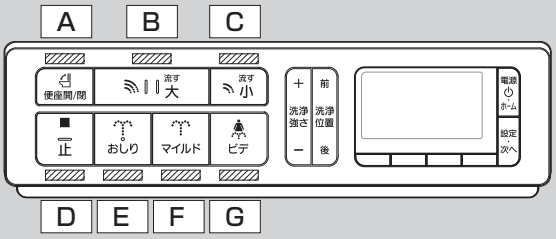
ご使用前の準備と確認

〈壁リモコン〉※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。



❖点字シールの貼付方法

点字シールは図の位置に貼り付けてご使用ください。
貼り付ける際は、位置や向きに注意してください。

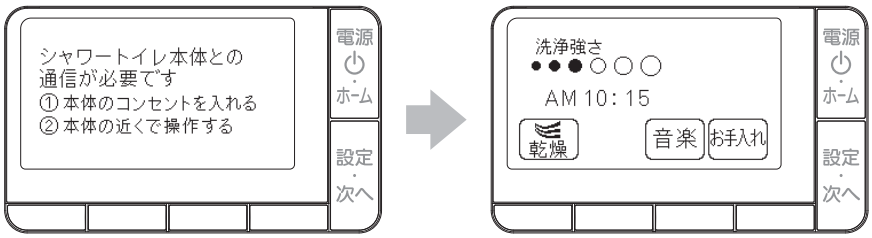


（参考）

- リモコンの電源スイッチで電源を「切」にした場合、「電源 OFF 画面」に切り替わります。
- 設定中に 30 秒間何も操作しないと「ホーム画面」に戻ります。もう一度初めから操作を行ってください。
- 低温では画面に残像が出ますが故障ではありません。トイレ内を暖かくしてしばらく使用していると、元に戻ります。
- 画面を切り替えるとき、5 回に 1 回は白と黒の画像が 1 度反転しますが故障ではありません。
- リモコンの電池を外すと画面に縦線が入る場合がありますが故障ではありません。電池を入れると画面は元に戻ります。

STEP 3 リモコンの【止】ボタンを押す

※画面が「ホーム画面」に切り替わります。



STEP 4 流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す

※便器洗浄の水が出ることを確認してください。

STEP 5 シャワーを出す

※便器洗浄中はシャワーが出ません。便器洗浄後に操作してください。

1 腕まくりをし、肌で便座に触れる

※人が便座に座ったことを検知する着座センサーが付いています。
シャワー・乾燥は、着座していないと作動しません。

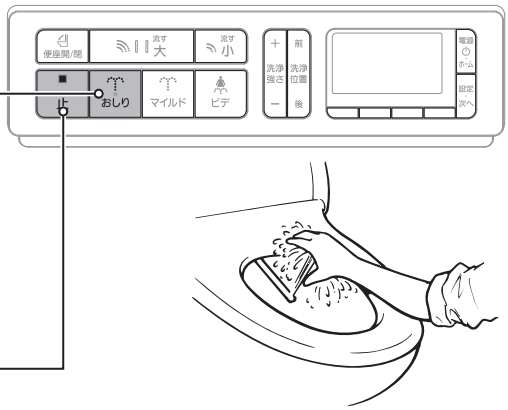
※初回の着座時に、水回路内部の空気抜きのため約 30 秒間水が出ます。

2 【おしり】を押す

※このとき、準備動作のため、ノズル付近から水が出ます。

3 ノズルの先端に手をかざしてシャワーを受け止める

4 【止】を押して、シャワーを止める



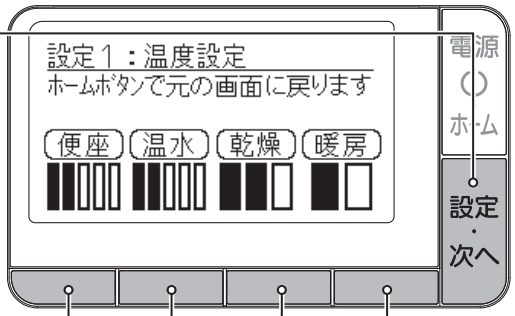
STEP 6

温度を調節する

1 画面が「設定 1：温度設定」になるまで【設定・次へ】を押す

2 温度を変更する

※画面スイッチのいずれかを押すと、それぞれの温度が切り替わります。



便座温度

※便座温度は 6 段階（「切 (室温)」、「低 (約 28℃)」～「高 (36℃)」）に切り替えできますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。

温水温度

※温水温度は 6 段階（「切 (水温)」、「低 (約 32℃)」～「高 (40℃)」）に切り替えできますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。

乾燥温度

※乾燥温度は 3 段階(「低」～「高」)に切り替えできます。(☞ 20 ページ)

暖房温度 ※この機能のついていない機種があります。(☞ 15 ページ)

※部屋暖房の暖房温度は 3 段階（「切（室温)」、「低 (約 15℃)」～「高 (20℃)」）に切り替えできます。(☞ 26 ページ)
（ご使用の環境により設定温度まで上がらない場合があります。）

⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が便座温度を「切」にする。

- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「切」以外の設定で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

⚠注意

禁止

〈部屋暖房付の場合〉
●温風吹出口に触れない。
●温風吹出口の前に燃えやすい物を置かない。
※ 高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。

(参考)
- 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する 10～15 分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。
- 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。(☞ 29 ページ)
- 省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としています。使用環境などによっては、便座が冷たいと感じる場合があります。
- 部屋暖房機能は、室内の温度が設定より高い場合は、温風が出なかったり、途中で止まったりすることがあります。温度が低くなると再び温風が出て、温度を一定に保ちます。

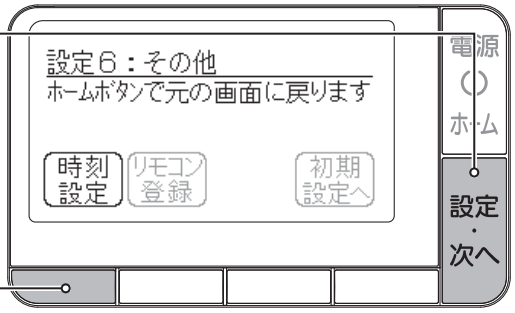
STEP 7

時計を合わせる

1 画面が「設定 6：その他」になるまで【設定・次へ】を押す

2 【時刻設定】を押す

※画面が「時刻設定」に切り替わります。



3 時刻を設定する

※画面スイッチのいずれかを押すと、時刻が切り替わります。
※AM (午前)、PM (午後) に注意してください。
※時計精度は常温（約 25℃）において月差± 1 分以内です。

4 時刻を合わせたら【設定・次へ】を押す

機能の紹介

品番は、便フタ裏の品番表示（☞ 9 ページ）に記載されています。お持ちの機能をご確認ください。

キレイ機能			DV-S628 型 DV-S618 型	DV-S626 型 DV-S616 型	DV-S625 型 DV-S615 型
アクアセラミック（ISO 抗菌準拠）	☞ 41	汚れが付かない衛生陶器に最適な新素材。	○	○	○
鉢内除菌	☞ 23	プラズマクラスターイオンで付着菌を除菌。においを抑えます。	○	○	○
パワーストリーム洗浄	ー	勢いのよい水流で、グルッと強力に洗い流します。	○	○	○
お掃除リフトアップ	☞ 45	お掃除できなかった便器とのすき間をラクラクお掃除。	○ 電動	○	○
ノズルシャッター	☞ 50	使わないときは、ノズルを収納。着脱式でお掃除ラクラク。	○ スッキリノズルシャッター	○	○
ノズルお掃除モード	☞ 48	ノズルが伸出して、お掃除ラクラク。	○	○	○
ノズルそうじ	☞ 47	スイッチ操作でノズルを洗浄します。	○	○	○
ノズル先端着脱	☞ 49	ノズルの先端が交換可能でいつも清潔。	○	○	○
キレイ便座	ー	つぎ目をなくし、さらに便座の裏の防汚処理でお掃除ラクラク。	○	○	○
女性専用レディスノズル	ー	女性にやさしいビデ専用ノズル。	○	○	○
ノズルオートクリーニング	☞ 18	使用前後にノズルをたっぷりのお湯で洗います。	○	○	○
便フタワンタッチ着脱	☞ 44	便フタが簡単に取り外せて、お掃除ラクラク。	○	○	○
抗菌樹脂（ISO 抗菌準拠）	☞ 43	銀イオンパワーの抗菌効果。	○	○	○

エコ機能			DV-S628 型 DV-S618 型	DV-S626 型 DV-S616 型	DV-S625 型 DV-S615 型
超節水トイレ	ー	従来品に比べ、2 日でおフロ 1 杯以上の節水効果。	ECO5・ECO6 ※2 床排水は ECO4 もご用意		
省エネ便座	ー	便座の熱を逃がさず節電します。	○	○	○
スーパー節電	☞ 25	使わないときは、自動的に便座温度を下げて節電します。	○	○	○
ワンタッチ節電	☞ 25	スイッチ操作で一定時間、ヒーターをオフにして節電します。	○ (8h)	○	○
電源スイッチ	ー	スイッチ操作でこまめに節電。	○	○	○

洗浄機能			DV-S628 型 DV-S618 型	DV-S626 型 DV-S616 型	DV-S625 型 DV-S615 型
おしり洗浄	☞ 18~19	お湯のシャワーで、おしりをスッキリ洗浄。	○ パワフル・マイルド	○	○
おしりワイド洗浄	☞ 18~19	ノズルが前後に動き、広い範囲を洗浄。	○	○	○
おしりワイド S 洗浄	☞ 18~19	ノズルが前後に小刻みに動きながら洗浄し、おしりを刺激。	○	○	○
おしりマッサージ洗浄	☞ 19	強弱をつけた洗浄で、おしりを刺激。	○	○	○
ビデ洗浄	☞ 18~19	ソフトなシャワーでやさしく洗浄。	○	○	○
ワイドビデ洗浄	☞ 18~19	ノズルが前後に動き、広い範囲をやさしく洗浄。	○ スーパーワイドビデ洗浄	○	○
ノズル位置調節	☞ 19	ノズルをお好みの位置に調節。	○	○	○

○：保有機能あり　ー：保有機能なし

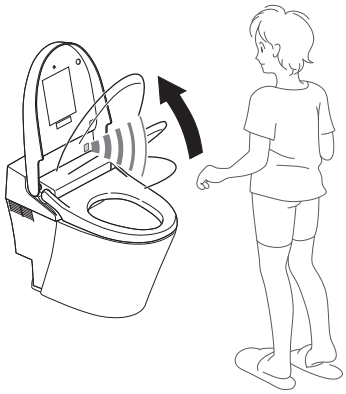
快適機能			DV-S628型 DV-S618型	DV-S626型 DV-S616型	DV-S625型 DV-S615型
リラックスミュージック	☞27	心地良い音楽でリラックス。	○	ー	ー
部屋暖房	☞26	温風が吹き出し、トイレを暖めます。冷込み防止機能付き。	○	ー	ー
ルームリフレ	☞24	プラズマクラスターイオンと脱臭剤の相乗効果でトイレ空間を脱臭。	○	○	ー
フルオート便座	☞17,22	便器に近づくと自動で便フタが開き、離れると閉まります。	○	○	ー
ほのかライト	☞26	足元と便鉢内を照らします。夜中の使用時に便利です。	○	○	ー
フルオート便器洗浄（リモコン便器洗浄）	☞21	便座から立ち上がると自動的に便器を洗浄。	○ 男子小洗浄対応	○	○※1
温風乾燥	☞20	温風で、おしりをさらっと乾燥。	○	○	○
エアシールド脱臭	☞17	気流を発生させて鉢内をくまなく、強力に脱臭します。	○	○	○
暖房便座	☞13	寒い日でも、おしりあたたか。	○	○	○
スローダウン便座	ー	便座がゆっくり閉まって、閉まる時の音を軽減します。	○	○	○
便座ヒーターオートOFF	☞29	便座に座るとヒーターOFF。低温やけどを防止します。	○	○	○
着座センサー	☞33	人が座らないと作動しない誤作動防止センサーです。	○	○	○
さらっと便座	☞43	ベタつき感の少ない、快適な座り心地。	○ チェンジオプション	○	○
リモコン	ー	見やすく、ラクな姿勢で操作できます。	○	○	○
スマートフォンリモコン※2	☞31	お手持ちのスマートフォンでリモコン操作できます。Bluetooth®※3が必要。専用アプリケーションのダウンロードが必要です。	○	○	○
スマートリモコン	ー	メタル調のデザイン性を重視したリモコンです。	○ チェンジオプション	○	○
インテリアリモコン	ー	紙巻機と一体になったインテリア性を重視したリモコンです。	○ チェンジオプション	○	○
点字対応	☞11	目の不自由な方に配慮した点字対応。	○	○	○
停電対応	☞36	停電時も安心。	○	○	○

※1 男子小用時には自動洗浄しません。
※2 対応機種の最新情報は当社ホームページをご覧ください。
※3 Bluetooth® は米国 Bluetooth SGI, Inc. の登録商標です。

一般的な使い方

STEP 1 便器の前に立つと、便フタが自動的に開く

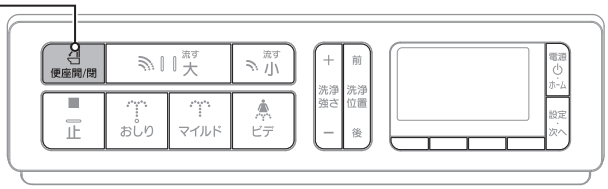
※この機能のついていない機種があります。
　15 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。
※お買い上げ時は、「入」になっています。
※便フタが単独で開いた後、着座センサーが検知しなければ、約 3 分後に便フタが閉まります。
※「人体検知センサー（上）」が熱の変化（人の動き）を検知して、便フタを自動的に開きます。
　トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。
※センサーの誤検知による急な作動などがないように、電源プラグを接続して約 1 分間は、自動で便フタは開きません。
※手で便フタを閉じた場合は、10 秒間は開きません。



リモコンで便座を開閉するとき

【便座開 / 閉】を押す

※【便座開 / 閉】を押すごとに開閉します。



（参考）
- 夏場など、室温が 30℃を超えると、人を検知しにくい場合があります。トイレ室内を換気したり、体を動かすなどしてみてください。
- フルオート便座を「切」にすることができます。（☞ 29 ページ）
　※小さなお子さまが使用するときは、【フルオート便座】を「切」にしてください。「着座センサー」が検知できず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。
- 便フタと便座を同時に開ける機能がついています。（☞ 29 ページ）

[注意]
- 太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。
- 手で開閉するときは、強い力を加えず、軽く開閉してください。
　※強い力を加えると、故障の原因になります。
- 不適切な布カバーをご使用になると、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。

STEP 2 自動的に脱臭が作動する

1 座ると脱臭開始

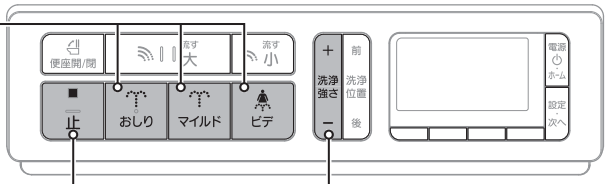
脱臭ファンが作動し、便鉢内のにおいを除去します。

2 立ち上がると脱臭停止

脱臭ファンは、立ち上がってから 1 分後に自動停止します。

（参考）
- 自動脱臭を「切」にすることができます。（☞ 29 ページ）

STEP
3 シャワーで洗う



● 【おしり】【マイルド】【ビデ】のいずれかを押す

※おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
※マイルド洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを優しく洗い流す機能です。
※ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。

● 止めるときは【止】を押す

※洗浄時間は 10 秒〜 20 秒を目安にご使用ください。

洗浄強さを調節するとき

洗浄強さの【+】または【−】を押す

※洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々にお好みの水勢でご使用ください。

[注意]
- 給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの温度が低くなることがあります。
- 便座には、深く腰掛けてください。深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- シャワー使用時に便器洗浄を行うと、シャワーを停止します。また、便器洗浄中にシャワーは使用できません。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、直腸内部、膣内部、尿道内部は洗わないでください。
  ※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

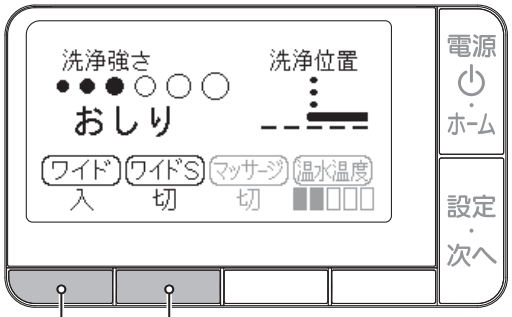
❖シャワーは
2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。ただし、洗浄中にマッサージ・ワイドなどの操作をするとさらに 2 分間延長し、最長 6 分間洗浄して自動停止します。

❖ノズルオートクリーニングについて
シャワーの前と後に自動でノズルを洗うノズルオートクリーニング機能が付いています。

❖ノズル付近から出る水は
便座に座ったり、シャワースイッチを押したときは、温水を出す準備のためにノズル付近から、しばらく水が出ます。また、冬期や寒い地域などは、温水が温まるまでに時間がかかります。
便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。(☞ 35 ページ)
ただし、温水温度「切」にしている場合は、便座に座った直後の排水はしません。(☞ 13 ページ)

洗浄モードを切り替えるとき

※おしり洗浄中、それぞれの画面スイッチを押します。
※洗浄を止め、もう一度シャワーを出すと洗浄モードは元に戻ります。



ワイド洗浄

ノズルが前後に動いて、広い範囲を洗浄します。

〈おしり・マイルド洗浄の場合〉

ワイド S 洗浄

ノズルが前後に小刻みに動いて、ていねいに洗浄します。

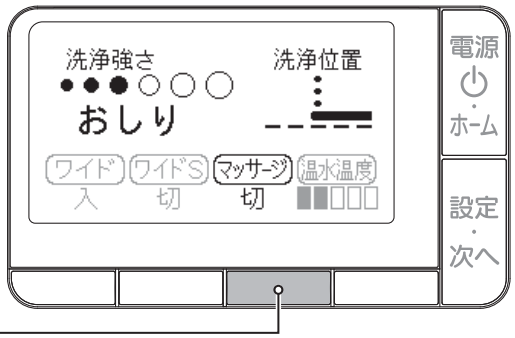
〈ビデ洗浄の場合〉

スーパーワイド

ノズルが前後に動いて、ワイド洗浄より、更に広い範囲を洗浄します。

マッサージ洗浄

おしり・マイルド洗浄中、洗浄の強さに強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。
※ビデ洗浄にはマッサージ機能はありません。

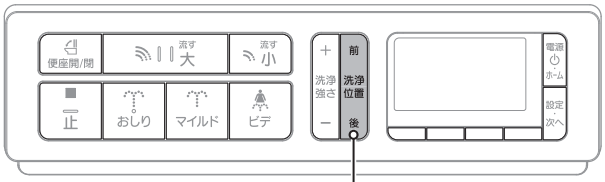


● **おしり・マイルド洗浄中に、【マッサージ】を押す**

※【マッサージ】を押すたびに、「入 / 切」が切り替わります。
※マッサージ洗浄の感じ方には、個人差があります。

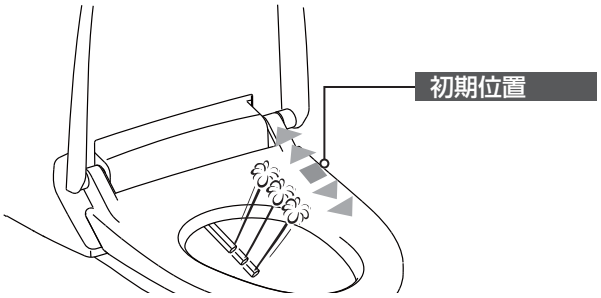
洗浄位置

おしり・マイルド洗浄・ビデ洗浄中に、洗浄位置の前・後を調節することができます。



● **シャワー使用中に、洗浄位置の【前】または【後】を押す**

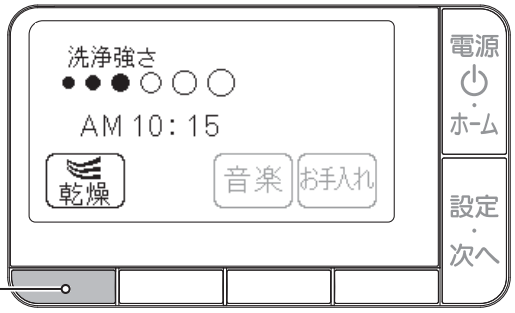
※洗浄位置は 5 段階に調節することができます。
※初期位置、前 2 段、後 2 段の計 5 段階です。
※便座から立ち上がると、自動的に初期位置に戻ります。



STEP
4 温風で乾かす

温風乾燥

温風が出て、シャワーでぬれた部分を乾燥します。
※温風乾燥作動時は、ビデノズルが出てノズルシャッターを押し下げます。

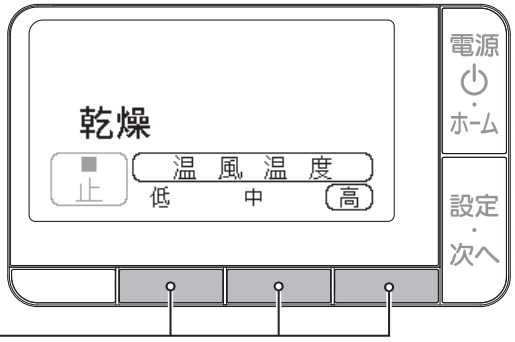


● **ホームの【乾燥】を押す**
※温風の温度は３段階に調節できます。
※乾燥が作動中は、一時的に脱臭が停止します。

● **止めるときは、【止】を押す**

温風温度を変えるとき

乾燥中に、【低】、【中】、【高】のいずれかを押す
※乾燥を止めた後は、初めの設定温度に戻ります。
※温風温度の始まる温度を変更する機能が付いています。（☞ 13 ページ）



⚠警告

指示実行

次のような方が使用されるときは、周りの方が乾燥温度を「低」にする。
- お子さま
- お年寄り
- 病気の方
- ご自分で温度調節のできない方
- 皮膚の弱い方
- 睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方
- 深酒された方
- 疲労の激しい方

※「低」以外の温度で長時間使用されますと、ヤケドをおこす恐れがあります。

（参考）
●洗浄後、トイレットペーパーでおしりの水滴を軽く取ってから【乾燥】を押せば、素早く乾燥できます。

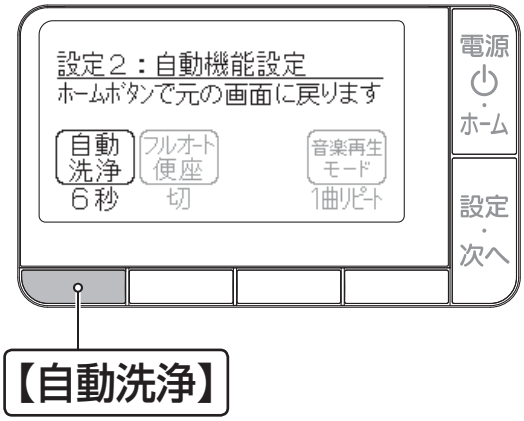
❖温風乾燥は
４分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

STEP 5

便器を洗浄する

フルオート便器洗浄

立ち上がると、自動的に便器洗浄を行います。
※お買い上げ時は「入」になっています。



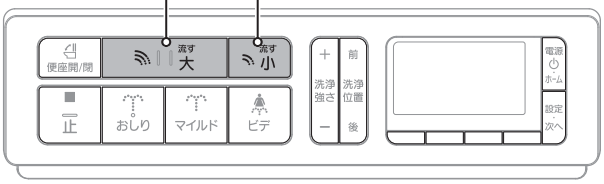
（参考）
●フルオート便器洗浄を「切」にすることができます。（☞ 29 ページ）

❖洗浄のタイミングは
フルオート便器洗浄は、便座に 10 秒以上座り、立ち上がってから約 6 秒後に便器洗浄します。この 6 秒を約 2 秒、約 10 秒、約 15 秒後に切り替えることができます。（☞ 29 ページ）

リモコン便器洗浄

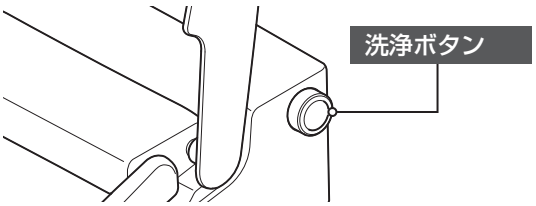
● **大便時は流す【大】を、小便時は流す【小】を押す**

※大便時に流す【小】を押すと、汚物が流れないことがあります。



手動大洗浄

● **本体の洗浄ボタンを押す**



[注意]
●停電・断水した場合は「停電・断水したときの便器洗浄のしかた」にしたがって便器内を洗浄してください。（☞ 36 ページ）
●女性の小用で紙をたくさん使用した場合、「小」で洗浄してしまうと紙が流れない場合がありますので、リモコン「大」洗浄または手動「大」洗浄にて再度洗浄してください。
●水の流れが悪い、または、汚物がよく残る場合は「修理を依頼される前に」をご確認ください。（☞ 59 ページ）

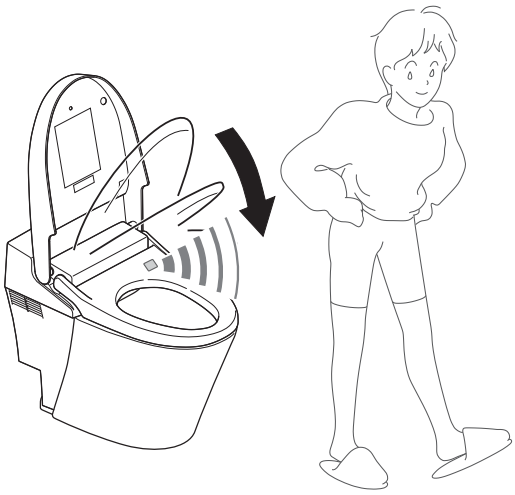
❖男性小用のときは
フルオート便座付の場合、男性小用のとき、便座が開いた状態で便器の前に 6 秒以上立ち、立ち去って 1 秒後に小洗浄します。（ただし、便器から立ち去る前に便座を下げるとフルオート便器洗浄をしません。）

❖大洗浄と小洗浄の区別は
フルオート便器洗浄は、座った時間の長さで「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。（ただし 50 秒未満でもおしり・マイルド洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。）

STEP 6

便器から離れると便フタが閉じる

※この機能のついていない機種があります。
15 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。



※便器から離れて約 1 分後に便フタが閉まります。
フルオート便座が「切」の場合は閉じません。
※便フタを手で閉めた場合、約 10 秒間は人体検知センサーが働きません。人の退出時に便フタが繰り返し開かないようにするためです。
※「人体検知センサー（上）」が人の動き（熱の変化）を検知して、自動的に開閉します。
トイレの扉を開けたままにしておくと、トイレの前を通過する人を検知する場合があります。

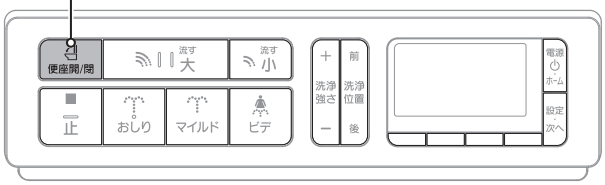
[注意]
●便フタや便座の作動中は手などで動きを止めたり、逆方向に動かしたりしないでください。
※便フタや便座の開閉機能が正常に動かなかったり、故障の原因になります。

（参考）
●フルオート便座を「切」にすることができます。（☞ 29 ページ）
●便フタと便座を同時に開ける機能がついています。（☞ 29 ページ）

リモコンで便座を開閉するとき

【便座開 / 閉】を押す

※【便座開 / 閉】を押すごとに開閉します。



イオンで快適【鉢内除菌】/【ルームリフレ】

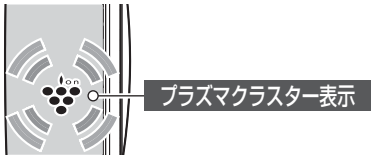
1 画面が「設定 3：快適機能設定」になるまで【設定・次へ】を押す

2 【イオン】を押す

※【イオン】を押すたびに、「鉢内」、「空間」、「切」と切り替わります。
※設定状態は洗浄ボタンのプラズマクラスター表示（☞ 9 ページ）でご確認ください。

→ 切（消灯） → 鉢内：（鉢内除菌）（点滅（青）） → 空間：（鉢内除菌＋ルームリフレ）（点滅（白）） →

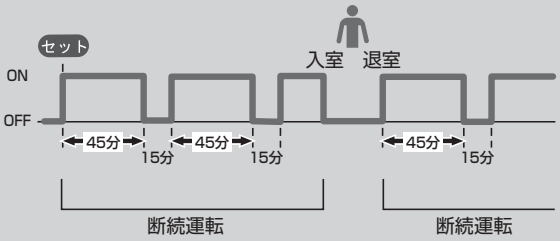
●洗浄ボタン（表示部）

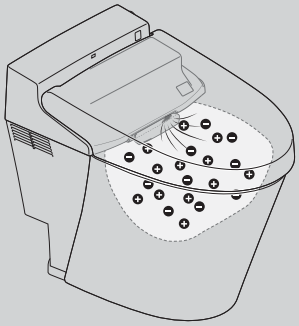


鉢内除菌

プラズマクラスターイオン（プラスとマイナスの 2 つのイオン）がトイレの鉢内に行き渡り、水のかからない便座裏や、便器内の浮遊カビ菌※1 や付着菌※2 を除菌します。トイレのにおいの元となる「におい原因菌※3」を除菌することでにおいの発生を抑えます。

■鉢内除菌の動作方法





※鉢内除菌を設定し便フタを閉じると、断続運転を始めます。
※鉢内除菌セット時に人を検知すると、一時的に鉢内除菌を停止します。
※鉢内除菌セット時に人を検知および便フタを開くと、鉢内が一定時間青く光ります。
※鉢内除菌セット時は脱座後、便器洗浄すると、鉢内が一定時間青く光ります。
※鉢内除菌セット時に便フタを閉じると、鉢内が青く点滅します。
※退室後（便フタ閉後）は再び断続運転を始めます。

（参考）
●鉢内除菌動作時には送風の音がします。
●イオン発生器で発生するオゾンのにおいがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。
●イオンの効果を発揮するために、便フタを閉じた状態にする必要があります。
●使用する際は、フルオート便座を「入」にするか〈フルオート便座付の場合〉便フタを手動で閉じてください。
●便フタを取り外して使用すると鉢内除菌は動作しません。

※ 1.（浮遊カビ菌）
試験機関：（財）石川県予防医学協会
試験方法：８畳相当の実験室にプラズマクラスターイオンを放出し、浮遊カビ菌をエアーサンプラーにて測定。
（プラズマクラスターイオン濃度：3,000 個 /cm^3）
試験効果：約 195 分で除菌率 99.0%
効果効能：８畳相当試験空間におけるプラズマクラスターイオン発生器を用いた実証結果、イオン濃度が同等であれば同等の結果が得られると考えられます。

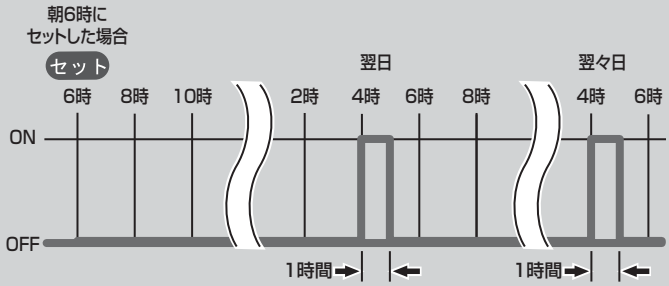
※ 2.（付着菌）
試験機関：（財）日本食品分析センター
試験方法：約 9L の試験空間にて菌を試験片に付着させプラズマクラスターイオンを放出。
その後、試験空間内の試験片を回収し、2 日間培養後、菌の除去率を算出。（プラズマクラスターイオン濃度：90,000 個 /cm^3）
試験効果：40 時間で除去率 99% 以上
試験成績書発行番号：第 12086808001-01 号
効果効能：実使用空間での実証結果ではありません。使用・環境条件（温度・湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着菌を除菌するもので、清掃不要になるものではありません。

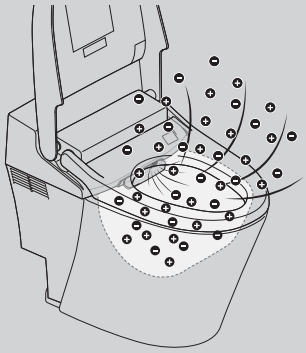
※ 3.（におい原因菌）
試験機関：当社調べ
試験方法：約 9L の試験便器空間に、におい原因菌を付着させた試験片を置き、プラズマクラスターイオンを放出。
その後、試験空間内の試験片を回収し、2 日間培養後、菌の除去率を算出。（イオン濃度：70,000 個 /cm^3）
試験効果：30 時間で除去率 99.0% 以上
効果効能：使用・環境条件（温度、湿度）によっては効果が異なります。鉢内除菌は付着菌を除菌するもので、清掃不要になるものではありません。においの種類・強さなどによって、におい除去効果は異なります。

ルームリフレ

プラズマクラスターイオン（プラスとマイナスの 2 つのイオン）を 1 日 1 回トイレ内に行き渡らせ、脱臭剤との相乗効果でトイレ空間をリフレッシュします。

■ルームリフレの動作方法





※スイッチを押した時刻の 2 時間前に動作します。一度設定したら、翌日以降も同じ時間に繰返し動作します。
※ルームリフレの動作中は便フタが開きます。
※動作開始時にトイレご使用中の場合は、その日は動作しません。翌日以降は再び設定時間に動作します。
※動作中に何らかの操作（リモコン操作など）をされると動作を停止し、その日は再開しません。翌日以降は再び設定時間に動作します。

（参考）
●ルームリフレ動作時には送風の音がします。
●イオン発生器で発生するオゾンのにおいがすることがありますが、濃度はごくわずかで、健康上問題ありません。
●使用する際は、フルオート便座を「入」にしてください。
●スマートフォンリモコンでルームリフレの開始時間を変更できます。詳しい操作方法はアプリをご覧ください。（動作時間（1 時間）は変更できません。）

節電

節電機能にはワンタッチ節電（8 時間）とスーパー節電（常時）の 2 種類があります。スーパー節電を設定した上でさらにワンタッチ節電（8 時間）を併用することで、効果的な節電ができます。お買い上げ時は「切」の状態になっています。

1 画面が「設定 3：快適機能設定」になるまで【設定・次へ】を押す

2 【節電】を押す

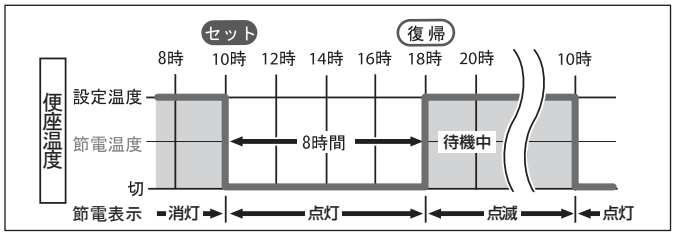
※【節電】を押すたびに節電モードが切り替わります。

※ 設定状態は洗浄ボタンの節電表示（☞ 9 ページ）でご確認ください。

→ **切** 消灯 → **ワンタッチ** 点灯 / 点滅 → **スーパー** 2 回点滅 → **併用** 点灯 /2 回点滅 →

ワンタッチ節電（8 時間）

長時間使用しない夜間など、スイッチを押してから 8 時間、便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電機能です。8 時間後は元の設定状態に戻ります。



※ ワンタッチ節電は 1 日に、2 回設定できます。

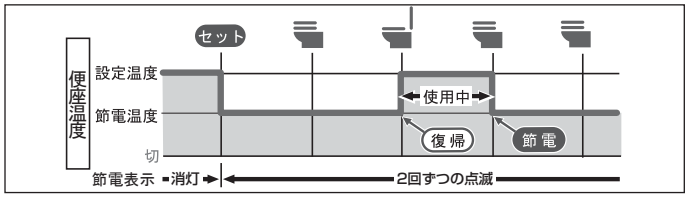
※ 8 時間経過すると、自動的に機能は元の状態に戻り、節電表示は点灯から点滅に切り替わります。

●洗浄ボタン（表示部）

（参考）
- ●停電時や電源プラグを抜いたときは、ワンタッチ節電の設定がリセットされます。
- ●スマートフォンリモコンで設定時間を細かく変更できます。詳しい操作方法はアプリをご覧ください。

スーパー節電（常時）

使用していないとき、便座の温度を下げて消費電力を抑える節電機能です。
※ 使用していないときは常に節電しています。



※ ワンタッチ節電と併用した場合、ワンタッチ節電中（8 時間）は本体の節電表示が点灯し、ワンタッチ節電待機中（16 時間）は節電表示が 2 回ずつ点滅します。

●洗浄ボタン（表示部）

（参考）
- ●節電時は温水と便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。
- ●節電機能を使用しない場合でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

足元を明るく【ほのかライト】/ 室内を暖める【部屋暖房】

ほのかライト

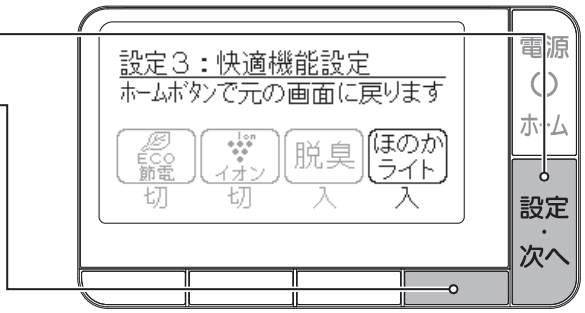
この機能のついていない機種があります。15 **ページの「機能の紹介」にてご確認ください。**

人を検知すると、足元と便鉢内をほのかに照らします。人が便器から離れると、自動的に消灯します。
お買い上げ時は、「入」の状態になっています。(「入」の場合、リモコンの【止】の表示ランプが橙色に点滅します。)

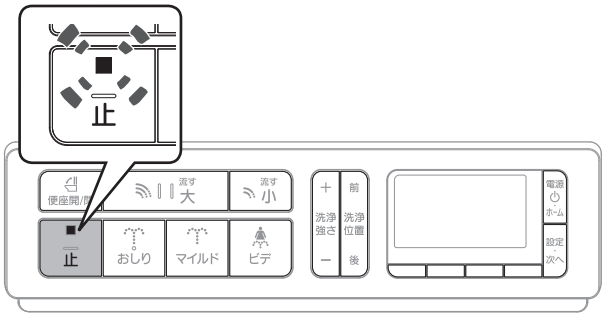
1 画面が「設定 3：快適機能設定」になるまで【設定・次へ】を押す

2 【ほのかライト】を押す

※【ほのかライト】を押すたびに、「入」、「足元のみ」、「切」と切り替わります。



(参考)
- 補助灯なので、トイレの主照明は必ず設置してください。
- ほのかライト点灯中は、便器底部に影ができて汚れに見える場合があります。ほのかライトを消して確認してください。(それでも気になる場合は、ほのかライトの設定を「足元のみ」にしてください。)
- リモコンの【止】の点滅は消すことができます。(☞ 29 ページ)
- 鉢内除菌セット時は青色の光が優先されます。



部屋暖房

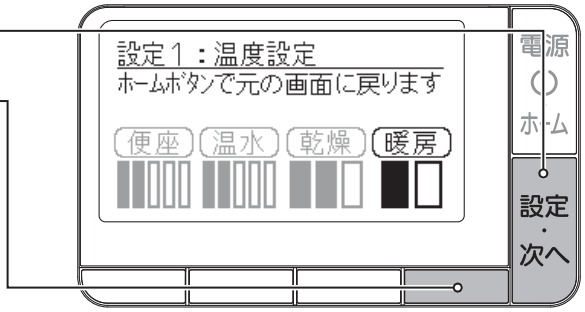
この機能のついていない機種があります。15 **ページの「機能の紹介」にてご確認ください。**

吹出口から温風が出て部屋を暖めます。

1 画面が「設定 1：温度設定」になるまで【設定・次へ】を押す

2 【暖房】を押す

※【暖房】を押すたびに、「低(約 15℃)」、「高(約 20℃)」、「切(室温)」の順に切り替わります。



⚠注意

禁止

- **部屋暖房の温風吹出口に触れない。**
- **温風吹出口の前に燃えやすい物を置かない。**

※ 高温になるため、ヤケド・火災の原因になります。

(参考)
- 部屋暖房機能は、室内の温度が設定より高い場合は、温風が出なかったり、途中で止まったりすることがあります。温度が低くなると再び温風が出て、温度を一定に保ちます。
- 部屋暖房機能は、切忘れ防止のため 24 時間後に自動停止します。

音楽を聴きながら【リラックスミュージック】

この機能のついていない機種があります。
15 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

本体下の両側にあるスピーカーから音楽が流れる機能です。

※お買い上げ時は、「1 曲リピート再生モード」の状態になっています。

① 1 曲リピート　同じ曲が繰り返し流れます。
▼
②全曲リピート　曲が順番に繰り返し流れます。
▼
③ランダム　曲がランダムに選択され流れます。
▼
④切　曲が停止します。

便座に座ると、音楽が自動で再生され、便フタが閉じるか、立ち上がって一定時間経過すると、音楽が自動的に停止します。

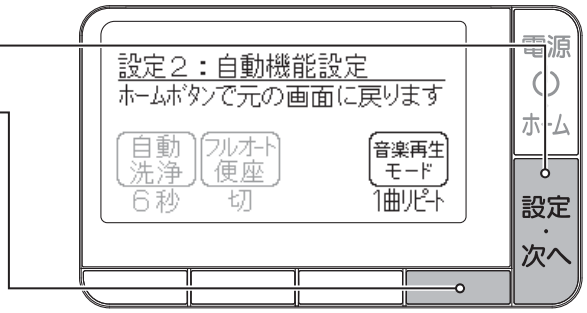
人体検知中および着座中、自分の好きなときにスイッチで音楽再生・停止ができます。

再生モードを変更するとき

1 画面が「設定 2：自動機能設定」になるまで【設定・次へ】を押す

2 【音楽再生モード】を押す

※【音楽再生モード】を押すたびに、音楽再生モードが切り替わります。



■音楽について

内部メモリー内には、下記表の音楽が入っています。

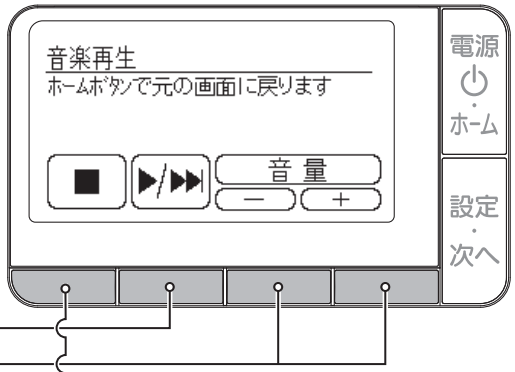
①	ペールギュント組曲「朝」	（グリーク）	管弦楽 / 交響曲
②	春の歌	（メンデルスゾーン）	ピアノ曲
③	アンダンテ	（モーツァルト）	弦楽曲
④	ムーンライト・セレナーデ	（グレンミラー）	ピアノ曲 / 管弦楽
⑤	アラベスク #1	（ドビュッシー）	ピアノ曲
⑥	ラプソディ・イン・ブルー	（ガーシュイン）	管弦楽 / 交響曲
⑦	愛の挨拶	（エルガー）	ピアノ曲 / 管弦楽
⑧	夢見る人よ	（フォスター）	弦楽曲
⑨	ジムノペディ #1	（サティ）	ピアノ曲
⑩	花のワルツ	（チャイコフスキー）	交響曲
⑪	アニー・ローリー	（スコット）	管弦楽
⑫	トロイメライ	（シューマン）	ピアノ曲
⑬	威風堂々	（エルガー）	管弦楽 / 交響曲
⑭	アメージング・グレイス	（讃美歌）	ピアノ曲 / 管弦楽
⑮	ロマンツエ	（モーツァルト）	弦楽曲

⑯	大きな古時計	（ワーク）	ピアノ曲
⑰	水上の音楽	（ヘンデル）	管弦楽 / 交響曲
⑱	白鳥	（サンサーンス）	ピアノ曲 / 管弦楽
⑲	ユーモレスク	（ドボルザーク）	ピアノ曲
⑳	ジュピター	（ホルスト）	管弦楽 / 交響曲
㉑	二人でお茶を	（ユーマンス）	ピアノ曲
㉒	G 線上のアリア	（バッハ）	弦楽曲
㉓	華麗なる大円舞曲	（ショパン）	ピアノ曲
㉔	ブランデンブルグ協奏曲	（バッハ）	協奏曲 / 交響曲
㉕	アヴェ・マリア	（カッチーニ）	ピアノ曲
㉖	四季（冬）Largo	（ビヴァルディ）	弦楽曲
㉗	故郷	（岡野貞一）	ピアノ曲
㉘	小鳥のさえずり		やすらぎサウンド
㉙	虫の音		やすらぎサウンド
㉚	港の情景		やすらぎサウンド

1 〈1 曲リピート・全曲リピート・ランダムの場合〉
便座に座ると音楽が自動的に再生
〈切の場合〉
ホームの【音楽】→音楽再生【▶/▶▶|】を押すと再生開始

2 **便フタを閉じるか、立ち上がって一定時間後に音楽は自動停止**
※ フルオート便座「入」のときは、立ち上がって 1 分経過すると便フタが自動的に閉じます。

● **ホームの【音楽】を押すと曲目などを変更できます。**



曲目を切り替えるとき

【▶/▶▶|】を押す
※ 次の曲に進みます。

音量を調節するとき

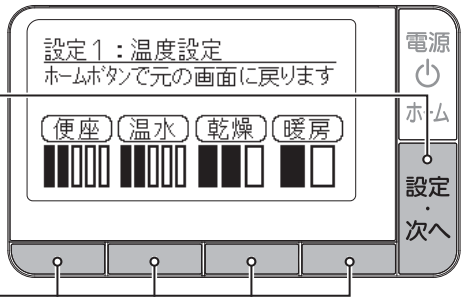
音量の【−】または【+】で調節
※ お好みに合わせて 16 段階に調節ができます。

音楽を途中で止めるとき

【■】を押す

お好みの設定に

各種の設定を変更することができます。

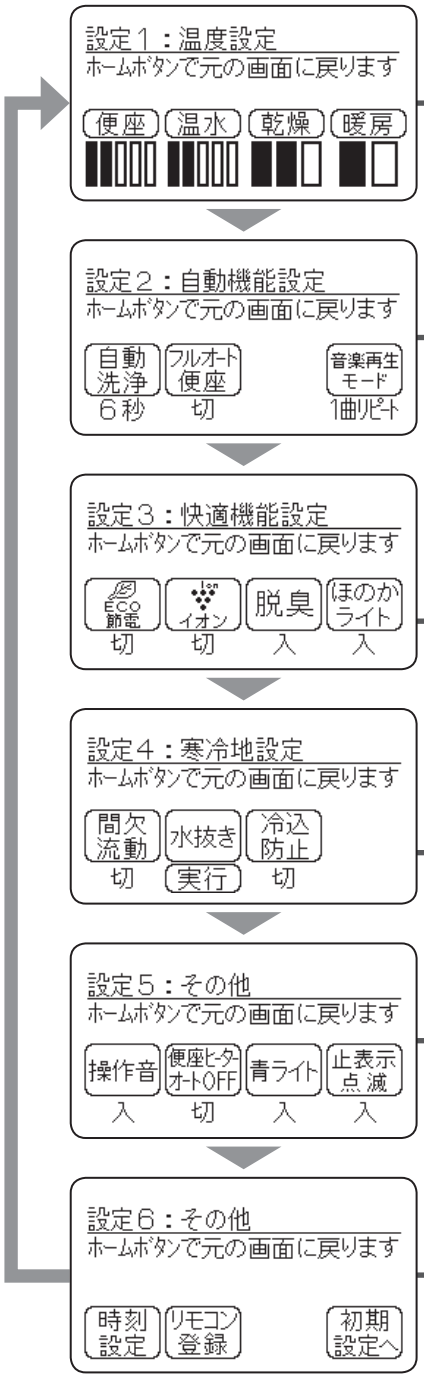


1 【設定・次へ】を押す

※【設定・次へ】を押すたびに、画面が「設定１：温度設定」から以下の順に切り替わります。

2 画面スイッチのいずれかを押す

※画面スイッチを押すと、それぞれに対応した設定が表示されます。



操作方法	
設定１ 温度設定	便座
	温水
	乾燥
	暖房 ☆
設定２ 自動機能設定	自動洗浄
	フルオート便座 ☆
	音楽再生モード ☆
設定３ 快適機能設定	節電
	イオン
	脱臭
	ほのかライト ☆
設定４ 寒冷地設定	間欠流動
	水抜き
	冷込防止 ☆
設定５ その他の設定①	操作音
	便座ヒーターオート OFF
	青ライト
	止表示点滅 ☆
設定６ その他の設定②	時刻設定
	リモコン登録
	初期設定へ

❖変更した設定の記憶について
設定を変更した場合、電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしても変更した設定は記憶されています。
（ワンタッチ節電、ルームリフレは電源プラグを抜くと設定がリセットされます。（☞ 24・25 ページ）

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

	機能説明	初期設定
	便座温度を変更できます。（☞ 13 ページ）	低
	温水温度を変更できます。（☞ 13 ページ）	低
	乾燥温度を変更できます。（☞ 13 ページ）	中
	部屋暖房の暖房温度を変更できます。（☞ 13 ページ）	切
	フルオート便器洗浄の「入 / 切」、立ち上がってから洗浄するまでの時間を変更できます。（☞ 21 ページ） → 6 秒 → 10 秒 → 15 秒 → 切 → 2 秒 →	入：6 秒
	フルオート便座の「入 / 切」、開閉の設定を変更できます。（☞ 17、22 ページ） → フタのみ → フタ・便座 → 切 →	入：フタのみ
	音楽再生のモードを変更できます。（☞ 27 ページ）	1 曲リピート
	節電のモードを変更できます。（☞ 25 ページ）	切
	「鉢内除菌」、「ルームリフレ ☆」の設定ができます。（☞ 23、24 ページ）	切
	脱臭の「入 / 切」を変更できます。（☞ 17 ページ）	入
	ほのかライトの設定を変更できます。（☞ 26 ページ）	入
	間欠流動の「入 / 切」を変更できます。（☞ 37 ページ）	切
	本体内部の水抜きをします。（☞ 39 ページ）	－
	室温を約 5℃に保ちます。（☞ 37 ページ）	切
	操作時に鳴るリモコン操作音を消すことができます。	入
	便座に座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドを起こしにくくします。	切
	鉢内除菌の青ライトを消すことができます。	入
	リモコンの【止】の点滅を消すことができます。	入
	時刻を設定します。（☞ 14 ページ）	－
	リモコンと本体のペアリングを設定します。（☞ 8 ページ）	－
	お買い上げ時の設定に戻すことができます。	－

スマートフォンの操作

この機能のついていない機種があります。
15 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

専用アプリ（My SATIS）をインストールした Bluetooth® 無線技術対応のスマートフォンで、シャワートイレを操作したり、トイレの使用料金をスマートフォンに表示することができます。
専用アプリ（My SATIS）の使い方やダウンロードについては、当社ホームページをご参照ください。

アプリ（My SATIS）をはじめて使うときは（初期設定）

1. スマートフォンでアプリを開きます。

〈Android™ の場合〉

1. アプリ「My SATIS」を開きます。
2. アプリをはじめて開くと、免責事項や使い方が表示されます。
   内容を確認して「同意」「次へ」（2 回）をタッチします。
   デザイン選択の画面でお好みのデザインを選択し「決定」をタッチします。
3. Bluetooth® デバイス選択の画面で、「Bluetooth® を ON にする許可をリクエストしています。許可しますか？」というメッセージが表示されたら、「はい」を選択します。
   トイレ選択という画面が表示されます。

〈iPhone の場合〉

スマートフォンでアプリ「設定」を開き、「Bluetooth®」を「オン」にします。

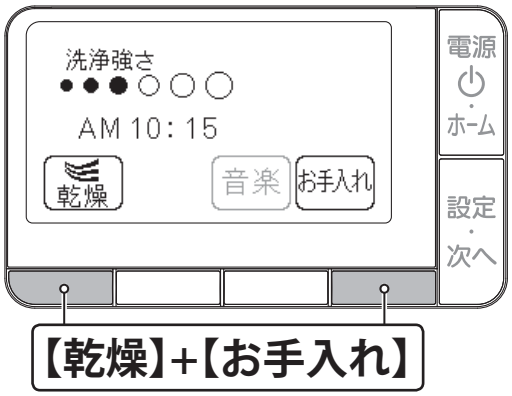
2. トイレの便フタを開く

3. ホームの【乾燥】と【お手入れ】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 本体表示部の電源ランプと節電ランプが同時に点滅します。

4. 1 分以内にスマートフォンでペアリング登録する

※ リモコンの操作から 1 分以内に、お手持ちのスマートフォンで、以下のペアリング登録を行います。
※ ペアリング登録が完了すると本体表示部の電源ランプと節電ランプの点滅が終わります。
※ スマートフォンをトイレに落とさないようご注意ください。スマートフォンを落として故障した場合でも、当社は一切の責任を負いかねます。



ペアリング登録

〈Android™ の場合〉

1. 先ほど開いたアプリ「My SATIS」の TOP 画面の「リモコン」ボタンを押します。
※「接続中」というメッセージが表示されるので、しばらくお待ちください。

2.「Bluetooth® ペアリングの要求」というメッセージが表示されたら、デバイス名が「Shower toilet」であることを確認して、「ペア設定する」を押します。
※スマートフォンの機種によっては上部の通知領域を開き、「ペア設定リクエスト」ボタンを押します。

〈iPhone の場合〉

1. アプリを起動して、TOP 画面の「リモコン」ボタンを押します。
※「接続中」というメッセージが表示されるので、しばらくお待ちください。

2.「Bluetooth® ペアリングの要求」というメッセージが表示されたら、デバイス名が「Shower toilet」であることを確認して、「ペアリング」を押します。

シャワートイレから「ピピピ」という音がなったらペアリングは完了です。1 度ペアリング登録が完了すると、次回から「初期設定の操作」は不要となります。
※ペアリング登録が完了すると本体表示部の電源ランプと節電ランプの点滅が終わります。

[注意]
- 動作保証するスマートフォンの機種については、当社ホームページで最新情報をご参照ください。
- アプリで表示される電気代・水道代は目安となります。
- 1 台のシャワートイレと同時に通信できるスマートフォンは 1 台のみです。
- スマートフォンとの通信中は、リモコンのシャワーの操作（洗浄強さ、洗浄位置、マッサージ入 / 切、温水温度）は効きません。ただし【止】を押してシャワーを止めることは可能です。
- スマートフォンとの通信を切断したいときは、リモコンの【止】を押してください。
- スマートフォンをトイレに落とさないようご注意ください。スマートフォンを落として故障した場合でも、当社は一切の責任を負いかねます。
- スマートフォンでトイレと通信するときは、必ずトイレの中で使用してください。他の人がトイレを使っているときに、スマートフォンで操作しないでください。

規約事項

1. 当社は、本アプリに掲載されている情報の正確性、有益性、完全性、特定目的への適合性、安全性などについて、一切の責任を負いません。
2. 当社は、本アプリを利用したことまたは利用できなかったことに関して、ご利用者がいかなる損害を受けた場合にも、当社の故意または重過失がある場合を除き、一切の責任を負いかねます。
3. 本アプリの利用に対する責任がお客様自身にあることを同意されたものとし、ご利用者と第三者との間で生じた紛議は、ご利用者の責任と負担において解決するものとし、当社は一切の責任を負いません。
4. 当社は、ご利用が本アプリを通じて登録、提供された情報が、当社の責に帰すべき事由により消失した場合であっても、一切の責任を負いません。
5. 当社は、ご利用者の関連サービスのご利用において、紛争または損害等が発生した場合においても、一切の責任を負いません。当社は、本アプリに関し、機能、品質、稼動の継続性及び他者の権利侵害の有無に係るものを含め、一切の保証をいたしません。

知っておいていただきたいこと

便座の温度は一定に調節しています。

便座は、スイッチの設定に合わせて一定の温度に調節しています。

便座温度

切 (室温)、低（約 28℃）～高（約 36℃）

冬期のシャワーは。

給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの温度が多少低くなったり、シャワーが出るまでの時間が長くなることがあります。

着座センサーで誤操作を防止します。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。

※便座に座らないと［おしり・マイルド洗浄］、［ビデ洗浄］、［乾燥］の各機能が作動しません。
※便座に便座カバー・便フタカバーを付けた場合、不適切なカバーをご使用になると着座センサーが入りっ放しになったり、また入らなかったりすることがあります。
※便座に座っているときに停電し、そのままの状態で停電が直った場合、おしり洗浄などの操作ができない場合があります。こんなときはいったん便座から立ち上がり、1 ～ 2 秒たってから再度座ってください。

便座・便フタはゆっくり閉じます。

便座・便フタには、誤って閉じたときなど、衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるように［スローダウン機構］が装備されています。

〈フルオート便座付の場合〉
電源 OFF 時は、スローダウンしません。

※強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

電池消耗お知らせサインが付いています。（ホーム画面）

リモコンの「電池マーク」点灯は、電池消耗をお知らせするサインです。お早めに新しい電池に交換してください。
(☞ 54 ページ)

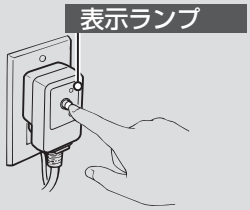
※「電池マーク」点灯時にリモコンのスイッチを押すと、まれに信号が本体に届かず作動しない場合があります。

漏電が起こるとランプが点灯し、電気を遮断します。

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「表示ランプ」を点灯させます。また、電源プラグに水がかかると「表示ランプ」が点灯する場合があります。

表示ランプが点灯したときは

① 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度時間をあけて再び差し込みます。
② 「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。



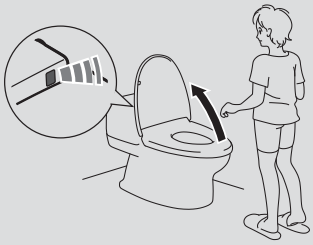
※上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または、LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。（☞裏表紙）

初めて使う時は水路内の空気を抜きます。

初めてお使いいただく時や、凍結防止の水抜き処理をされた後にお使いいただく時は、水回路内部の空気を抜きます。
着座すると約 30 秒間、ノズル付近から水が出ます。

人体検知センサーが付いていて手を使わず開けられます。〈フルオート便座付の場合〉

人が入室したことを検知して、便フタを自動的に開閉するための「人体検知センサー（上）」が付いています。



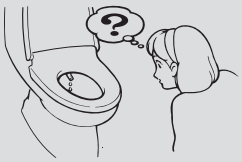
人体検知センサー（上）は熱の変化（人の動き）を検知しています。
夏場など、室温が 30℃を超えると、人と周囲の温度差が少ないのでセンサーが検知できないことがあります。便器の前で体を動かしてください。

※ 便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。
※ 人体検知センサー部が汚れていると、正常に作動しない場合があります。このような場合はセンサー部を柔らかく、きれいな布でふいてください。
※ 太陽光が直接センサーに当たったり、トイレ室内に暖房機器や強い熱を発する照明機器があると、熱でセンサーが誤検知し、便フタが自動で開く場合があります。
太陽光が直接当たらないようにしたり、暖房機器や照明機器の向きを変えてみてください。

こんなときは

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後や洗浄の前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。



※ 上記以外のときやいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。（☞裏表紙）

使い始めに温風がにおう。

新しいうちは、温風が少しにおうことがありますが、故障ではありません。
ご使用とともに消えていきます。

省エネのために。

- 使用後は便フタを閉じる
- 便座カバーを取り付ける
- 便座や温水の設定はむやみに高温にしない
- 季節の気温に合わせてこまめに温度調節をする
- 節電機能のある機種ではできるだけ節電機能を利用する
- 長時間の外出など、不在時はこまめに電源を切る

※ 便座カバーは、こまめに洗濯して清潔さを保ってください。
※ 凍結の恐れがある場合は、電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておく必要があります。「凍結しそうなときは」をご参照ください。
（☞ 37 ページ）

ラジオやテレビに雑音が入る。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

お手入れに使う洗剤は？

便座や便フタなどのプラスチック部のお手入れには、プラスチックに害のない洗剤を使用してください。
また、便器部（陶器）のお手入れには、塩素系・酸性洗剤・消毒剤を使用しないでください。

結露が出た。

室温と便器･本体･止水栓の表面温度差や湿度により、便器・本体・止水栓の表面に水滴が生じることがあります（結露）。結露を防ぐためには、換気を十分にしてください。なお結露水が生じた場合は、乾いた布でふき取ってください。

※ 結露水は床のシミや破損の原因になります。
※ 本便器は結露しにくい構造になっていますが、室温などの条件により結露する場合があります。

小用時には。

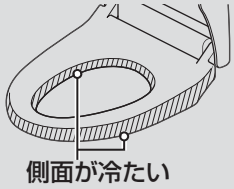
- 洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。座ってご使用いただければ、小便の飛散は軽減できます。
- 着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。

便器洗浄時ににおいがする。

キッチンの大型レンジフード使用時など、室内の換気バランスが悪いと、便器洗浄時ににおいが一時的にする場合があります。十分な換気を行ってください。

便座の側面が冷たい。

便座の暖房機能は便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触ると冷たく感じることがあります。



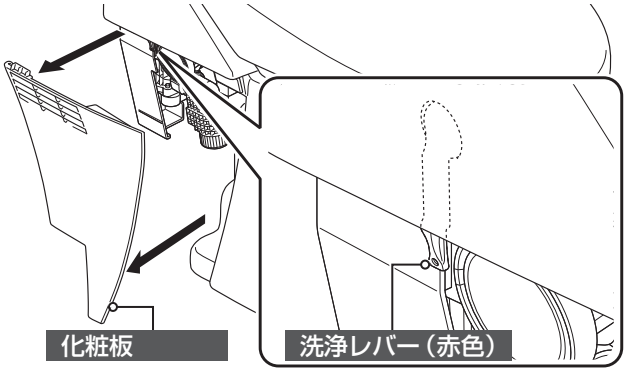
停電・断水したときの便器洗浄のしかた

停電したときの便器洗浄

停電したときには、リモコンで便器内洗浄が行えません。
以下の要領で洗浄してください。

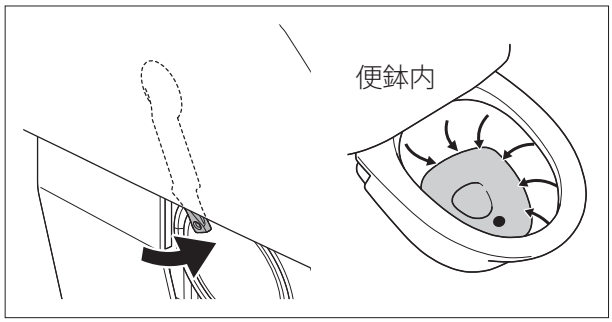
1 本体向かって左側にある化粧板を外す（☞ 52 ページ）

※ 停電時便器洗浄レバー（赤色）が見えます。



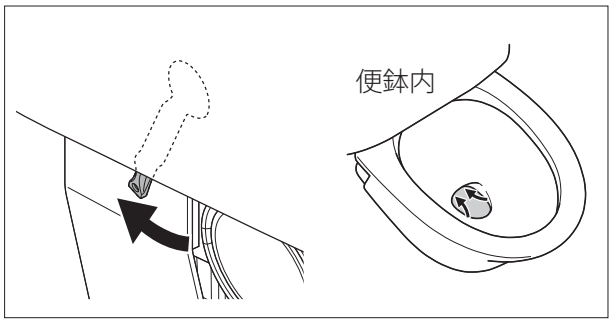
2 洗浄レバー（赤色）を手前に回し、5 秒程度保持する。

※ 便鉢周りから水が流れて、汚物を便鉢底へ洗い落とします。



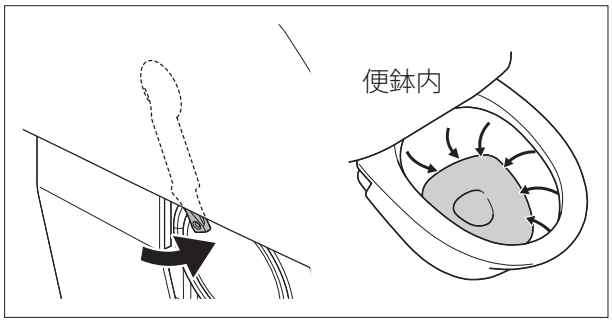
3 汚物が鉢面の底に落ちたら、洗浄レバー（赤色）を奥に回し、5 秒程度保持する。

※ 便鉢底から水が流れて汚物を排出します。



4 汚物が流れきったら、もう一度洗浄レバー（赤色）を手前に回し、5 秒程度保持する。

便鉢周りから水が流れて、便鉢底に水が溜まります。
便鉢に水が溜まったら手を離します。
自動でレバーが元の角度に戻り、水が止まります。



5 化粧板を取り付ける（☞ 52 ページ）

断水したときの便器洗浄

バケツ 1 杯（5 ～ 6 L）の水を、水飛びに注意しながら一気に流し込んで汚物を排出してください。
最後に、便器内の水位が通常の高さになるように 3 ～ 4 L の水を注いでください。
※ うまく汚物が流れないときは流し込みをより早く（短時間に一気に）して、再度行ってください。
※ 小洗浄も同じように流してください。

[注意]
- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。
- コンセント部分に水がかからないようにご注意ください。

凍結しそうなときは

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。
凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。
（電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。）

室内を暖房できる場合：	**「一般的な凍結防止方法」をご確認ください**
室内を暖房できない場合：	**「間欠流動式の凍結防止方法」もしくは「水抜き方式の凍結防止方法」をご確認ください。**

⚠注意

指示実行

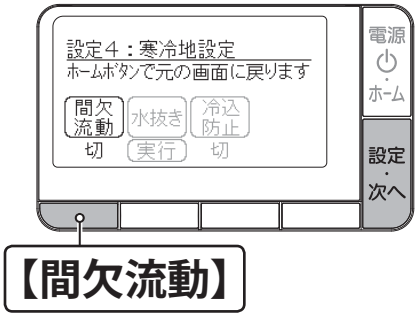
凍結の恐れがある場合は、
必ず凍結防止操作を行う。
※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

一般的な凍結防止方法

1【便座】を「高」にして、便フタを閉じる（☞ **13 ページ**）
2 節電を解除する（☞ **25 ページ**）
3 室内を暖房する
※〈部屋暖房付の場合〉以下の手順で冷込防止を「入」にします。
①画面が「設定４：寒冷地設定」になるまで【設定・次へ】を押す
②【冷込防止】を押す
※【冷込防止】を押すたびに「入 / 切」が切り替わります。
※室内が冷え込むと自動的に暖房を開始し、室温を約５℃に保ちます。
※ご使用の環境により、室温を約５℃に保てない場合があります。

間欠流動方式の凍結防止方法

1【便座】を「高」にして便フタを閉じる（☞ **13 ページ**）
2 節電を解除する（☞ **25 ページ**）
3 画面が「設定 4：寒冷地設定」になるまで【設定・次へ】を押す
4【間欠流動】を押す
※【間欠流動】を押すたびに、「入 / 切」が切り替わります。
※使用されていない間、３分ごとにシャワートイレ本体より約１分間、水を排出し凍結を防ぎます。
※６分間隔で便器を洗浄し、凍結を防止します。
※着座中は便器洗浄は行われません。



水抜き方式の凍結防止方法

1【便座】を「高」にして、便フタを閉じる
(☞ 13 ページ)

2 節電を解除する（☞ 25 ページ）

3 建物の水抜栓を操作して、配管内の水を抜く

※水抜栓を操作する場合は、止水栓を閉じないでください。
※詳しい操作方法は水抜栓の取扱説明書をご確認ください。

4 流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す

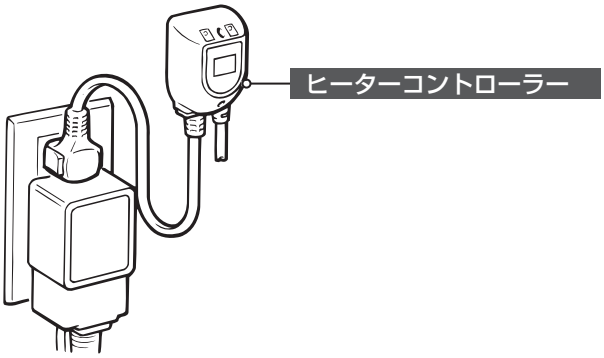
※20 秒程度時間をあけてください。
※便器洗浄の水が流れないことを確認してください。

5 本体内の水抜きをする

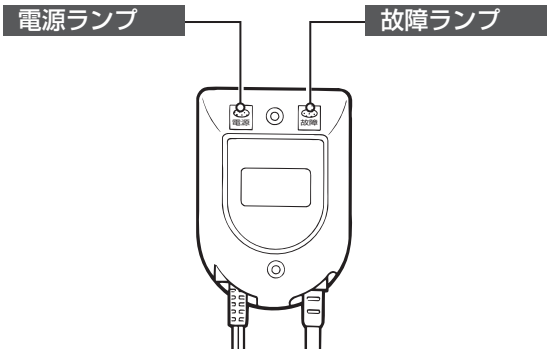
※39 ページの「水抜きのしかた」の3～5の手順で本体内の水抜きをします。

6 ヒーター付便器を暖める。
〈ヒーター付便器の場合〉

①「ヒーターコントローラー」の「電源プラグ」をコンセントに差し込む



②「電源ランプ」が点灯、「故障ランプ」が消灯していることを確認する



7 化粧板を取り付ける（☞ 52 ページ）

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
(☞ 10 ページ)

■もし凍結してシャワーが出なくなったら
万一、給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布などで、給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

[注意]

●給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※給水ホースが破損する恐れがあります。

●凍結している部分によっては、解凍中に水が噴出することがあります。解凍中は、こまめに様子をうかがってください。

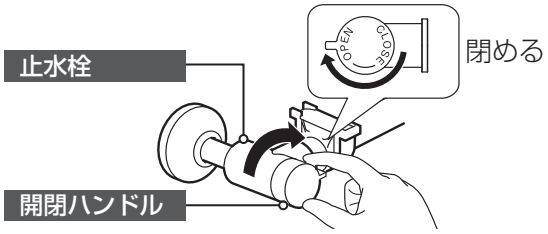
長期間使用しないときは

以下の場合は下記の手順にしたがって水抜きを必ず行い、電源を抜いてください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度が下がり、凍結する恐れがあります。）

水抜きのしかた

1「止水栓」を閉めて、給水を止める

※開閉ハンドルが回しにくい場合は、乾いた布などでつかんで回してください。

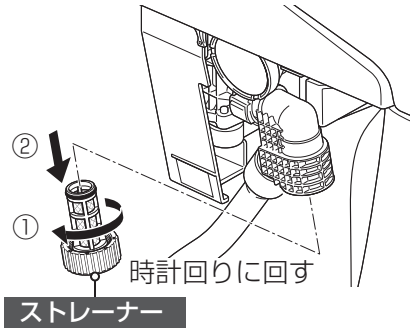


2 流す【大】または本体の洗浄ボタンを押す

※20 秒程度時間をあけてください。
※便器洗浄の水が流れないことを確認してください。

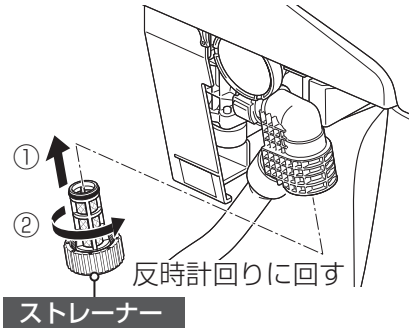
3 給水部から水を抜く

① 本体向かって左側にある化粧板を外す（☞ 52 ページ）
②「ストレーナー」の下に洗面器などを置く
③ ストレーナーを外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



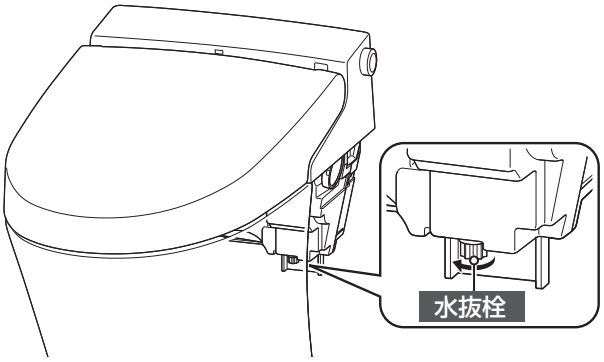
[注意]
●ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

④ 電源プラグをコンセントに差し込む
⑤ 画面が「設定 4：寒冷地設定」になるまで【設定・次へ】を押す
⑥ 画面の【水抜き】を押す
※ 15 秒間本体内の残水を抜きます。
⑦ 電源プラグをコンセントから抜く
⑧ 水抜き完了後、ストレーナーをしっかりと締め付ける



4 低流動圧対応ブースターから水を抜く〈低流動圧対応ブースター付の場合〉

① 本体向かって右側にある化粧板を外す（☞ 52 ページ）
② 水抜栓の下に洗面器などを置く
③ 水抜栓を外し、低流動圧対応ブースターから水を抜く（約 100cc 程度）



5 化粧板を取り付ける

※「化粧板の組み付けかた」1～3の手順で化粧板を取り付けます。（☞ 52 ページ）

6 止水栓部から水漏れしていないか確認する

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 10 ページ）

水抜きのしかた（つづき）

⚠注意

指示実行

- **ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。**

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

■凍結の恐れがあるとき

- 便器内の水を抜き、不凍液やバスタオルなどで排水口をふさいでください。
  ※不凍液はそのまま流さないでください。
  不凍液は回収し、廃棄処理してください。
  浄化槽への悪影響や、環境汚染の恐れがあります。
  ※排水口をふさぐ場合は、しっかりふさいでください。異臭や害虫が侵入する恐れがあります。
- 配管内から水を抜く必要があります。水抜式便器をお使いの方は、上記の手順に加えて建物の水抜栓を操作して、配管から水を抜いてください。（☞ 38 ページ）水抜栓を操作した後は、止水栓を開いてください。

お掃除・お手入れ

効果的なお手入れのため、汚れや場所にあった洗剤、道具を使いましょう。
また、少しでも楽にお掃除・お手入れしたい方にはおすすめの便利グッズもあります。
ただし、使ってはいけない道具・洗剤もありますのでご注意ください。

お掃除道具

種　類		使う場所
柔らかい布	使い古したタオル、着古したＴシャツなどを適当なサイズに切ってお使いください。	便座・便フタ カバー類・便器部
スポンジ	小さく、できるだけ柔らかなもの。	ノズル先端部
トイレ用ブラシ （研磨材なし）	便器の内側掃除の必需品。 ※研磨材付は陶器表面にキズを付ける恐れがあるので、避けてください。	便器部
ゴム手袋	手アレ防止に。水や洗剤が入らないように折り返して使いましょう。	–
プラスチック消しゴム	さらっと便座の汚れ落としに便利です。 ※砂消しゴムはキズが付く原因となりますので、使用しないでください。	さらっと便座

洗剤

種　類		使う場所
トイレ用中性洗剤	便器（陶器部）の黄ばみや黒ずみを落とします。	便器部
研磨材なしの洗剤		

便器はアクアセラミックです。

アクアセラミックの効果を十分発揮させるために、
次の洗剤・道具は使用しないでください。

- ●アルカリ性洗剤「塩素系」
- ●研磨材入りの洗剤
- ●研磨材付きのブラシ

LIXIL のお掃除グッズ（☞ 73 ページ）

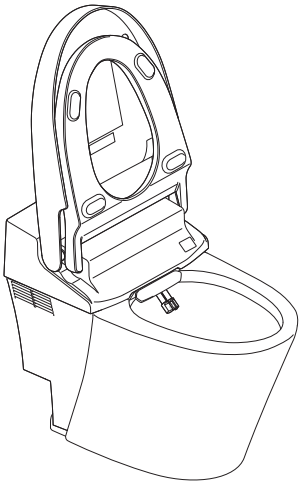
種　類		使う場所
トイレ用おそうじティッシュ〈CWA-36-4SET〉	プラスチックを傷めず、除菌効果に優れています。使用後、便器にそのまま流せます。	便座・便フタ・カバー類
シャワートイレお掃除クリーナー〈CWA-20〉	プラスチックを傷めないスプレー式。シュッと吹きかけふき取るだけ。脱臭剤配合で、便器にも使えます。	便座・便フタ カバー類・便器部
お掃除ブラシ 〈CWA-48・CWA-48-A〉	便器のアクアセラミック表面にキズを付けません。便鉢の裏側まできれいにできます。 ※ CWA-48-A はケースがつきません。	便器部

お掃除の場所と汚れの種類

便フタ・便座・カバー・リモコン	43 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

便座と便フタのすき間	44 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	

本体と便器のすき間	45 ページ
ホコリ・手アカ・小水のシミ	



ノズルシャッター	47 ページ
水アカ・小水のシミ	

ノズル	47 ページ
水アカ・小水のシミ	

便器	46 ページ
カビ・バクテリア・尿石	

[注意]
●お掃除･お手入れのときは、自動洗浄を「切」、フルオート便座〈フルオート便座付の場合〉を「切」にして行ってください。(☞ 29 ページ)
※「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れたり、便座・便フタが閉じたりします。

⚠警告

水かけ禁止

シャワートイレ本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。

⚠注意

指示実行

プラスチック部のお手入れは、便座に使用できる（プラスチック用）洗剤を使用する。
※ トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾールなどを使用すると、プラスチック部が破損し、ケガ、感電、火災の恐れがあります。

□お掃除・お手入れ方法

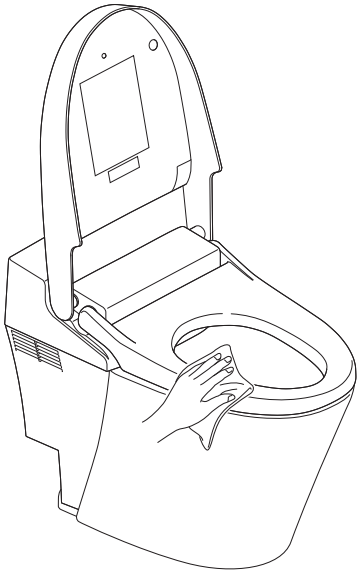
○便座・便フタのお掃除 …… 43
○便フタを外して掃除する …… 44
○本体を浮かせて掃除する …… 45
○便器のお掃除 …… 46
○ノズル周りのお掃除 …… 47
ノズルのお掃除・先端の取替え
ノズルシャッターのお掃除
脱臭フィルターのお掃除
○部屋暖房フィルターのお掃除 …… 51
○化粧板の外しかた …… 52
○シャワーが弱くなったら …… 53
○リモコンの電池マークが点滅したら … 54
○電源プラグ（漏電保護機能付）の点検… 54

便座・便フタのお掃除

便座・便フタ・カバー類・リモコン（プラスチック部）のお掃除

● 柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、固くしぼった柔らかい布でこまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。



● お手入れには当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」（別売品）をおすすめします。（☞ 73 ページ）

当社純正の「トイレ用おそうじティッシュ」または「シャワートイレお掃除クリーナー」をおすすめします。
市販の便座用洗剤も使用できますが、中には適さない商品もあります。
ご不明な点は、洗剤メーカーに確認してからご使用ください。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 74 ページ）をご覧ください。

[注意]
- 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
  ※キズが付く原因になります。
- リモコンのお掃除をするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  ※シャワートイレが誤作動することがあります。

すき間もお掃除がしたい

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 45 ページ）
便フタを簡単に外せます。（☞ 44 ページ）

さらっと便座の場合、プラスチック消しゴムも効果的！

ただし砂消しゴムは使用しないでください。
※キズが付く原因になります。

❖抗菌部位について
ノズル・便座・便フタ・カバー・リモコン操作部に抗菌プラスチックを採用しています。

❖キレイ便座について
キレイ便座は、汚れのたまりやすい便座のつなぎ目をなくした、お掃除のしやすい便座です。

❖さらっと便座について
さらっと便座は、通常の便座に比べ、立ち上がるときのはりつく感じが少なく、さらさらした肌触りの便座です。
通常の便座と比べると表面がマット調（つや消し）になります。

❖ KILAMIC 抗菌商品について
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC 抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。したがって感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。
  KILAMIC 抗菌商品は、経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

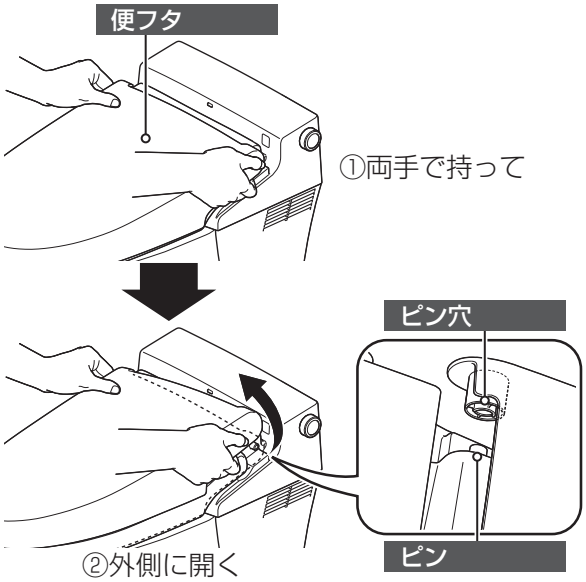
便フタを外して掃除する

便フタは、簡単に外せます。普段、隠れているヒンジ部を掃除するときや便フタを丸洗いするのに便利です。

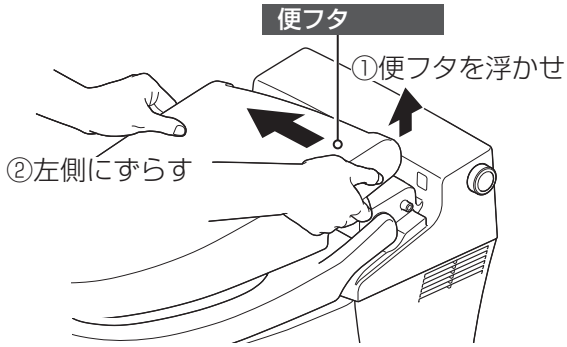
便フタの取外し

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 便フタを両手で持ち、右側を外側に開くように上げて、ピンからピン穴を外す



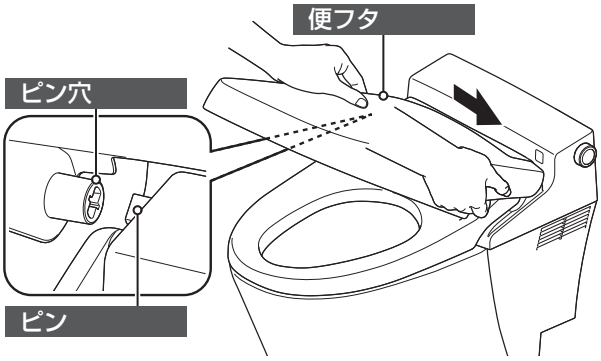
3 便フタを浮かせて左側にずらし、便フタを外す



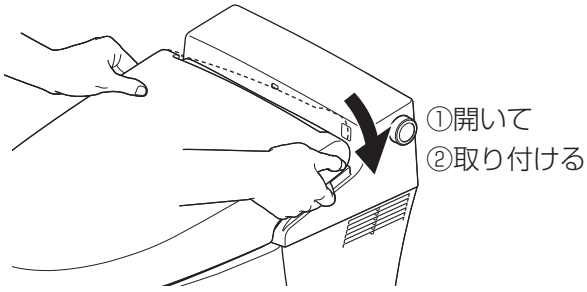
便フタの組付け

1 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込む

※本体のピンの角度に合わせて便フタを傾けて取り付けてください。



2 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付ける



3 電源プラグをコンセントに差し込む

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 10 ページ）

[注意]
- 便フタを外すときは必ず電源プラグを抜いてください。
  ※内部部品が破損する恐れがあります。
- 便フタに無理な力を加えないでください。
  ※破損する恐れがあります。
- 便フタを外した状態で便座を開かないでください。
  ※カバーや便座にキズが付いたり破損する恐れがあります。
- 便フタを外したまま使用しないでください。

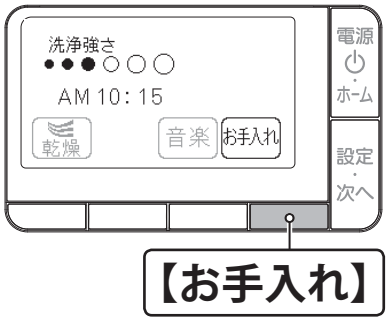
本体を浮かせて掃除する【お掃除リフトアップ】

本体（便座とともに）を浮かすことができますので、普段手の届かない本体と便器の間が掃除できます。

1 便フタ・便座を開く

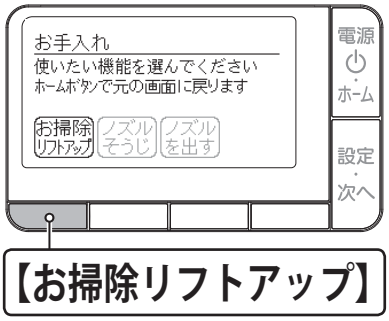
2 ホームの【お手入れ】を押す

※画面が「お手入れ」に切り替わります。



3【お掃除リフトアップ】を押す

※画面が「お掃除リフトアップ」に切り替わります。



4【上・下】を押す

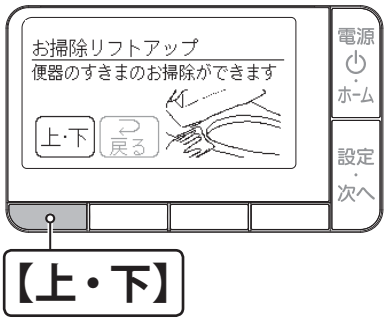
※便フタと便座は開いた状態で操作してください。

5 すき間をお掃除する。

6 もう1度、【上・下】を押す

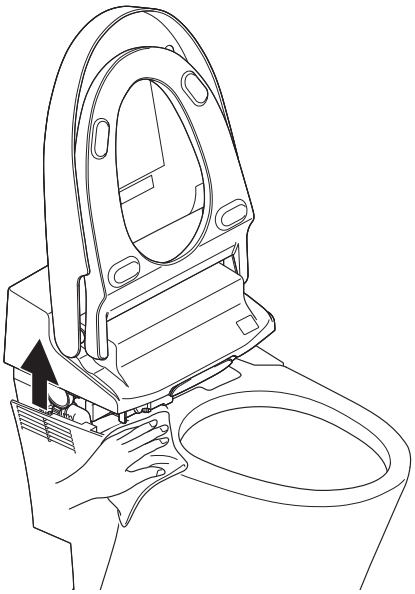
※自動的に本体が下降します。

※便フタと便座は開いた状態で操作してください。



[注意]

- 無理に押したり、持ち上げないでください。
  ※故障の原因となります。
- 本体を浮かせたまま使用しないでください。
  ※故障の原因となります。
- 便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水ぶきしてから本体を戻してください。
  ※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- 本体を上から押さえると降りてくる可能性があります。
- ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。
  ※ノズルが引っ込まなくなり、故障の原因になります。もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。



⚠注意

禁止

電動下降中は本体と便器の間に手を入れない。

※手を挟んでケガをすることがあります。

（参考）

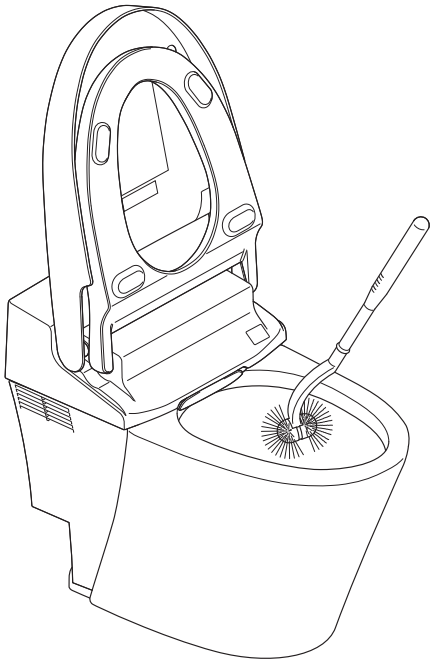
- 掃除中にノズルシャッターが外れた場合、「ノズルシャッターの取付け」（☞50ページ）をご覧ください。

便器のお掃除

便器（陶器部）のお掃除

便器はアクアセラミックです。（☞ 41 ページ）

- **柔らかいブラシやスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で洗ってください。**
- **当社純正の「お掃除ブラシ」（別売品）をおすすめします。（☞ 73 ページ）**



[注意]
- 便器のお手入れに塩素系洗剤・酸性洗剤・消毒剤は、使用しないでください。
  ※ 気化したガスにより、故障・破損の原因になります。
- 熱湯はお使いにならないでください。
  ※ 便器が破損することがあります。
- 研磨材入りの洗剤やブラシを使用しないでください。
  ※ 表面が傷つきアクアセラミックの効果が十分発揮できない恐れがあります。

すき間もお掃除がしたい

本体を浮かせて便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞ 45 ページ）

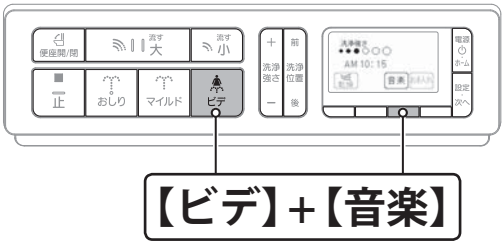
便器の底に汚れ？

ほのかライト付の場合、ほのかライト点灯中は、便器底部に影ができて汚れに見える場合があります。
汚れに見えて気になる場合は、「便鉢内のライトを常時消したいとき」の操作を行ってください。（☞ 26 ページ）

水位を下げてお掃除したいとき（お掃除モード）

本体を浮かせ（☞ 45 ページ）、【ビデ】とホームの【音楽】を同じタイミングで 2 秒以上押す

※ 本体を戻す（☞ 45 ページ）と便器洗浄を行い、通常の水位に戻ります。



ノズル周りのお掃除

ノズル周りのお掃除には、以下の方法があります。

● ノズルのお掃除

・使用中（着座中）にノズルを洗いたい。**[リモコンノズル洗浄**（☞本ページ）**]**
・お手入れ時、ノズルをしっかり掃除したい。**[ノズルを出す**（☞ 48 ページ）**]**
・ノズルの先端を取り替えたい。**[ノズルを出す**（☞ 48 ページ）、**ノズル先端の取替え**（☞ 49 ページ）**]**

● ノズルシャッターのお掃除

・ノズルシャッターを取り外して掃除したい。
[ノズルを出す（☞ 48 ページ）、**ノズルシャッターの取外し**（☞ 50 ページ）**]**

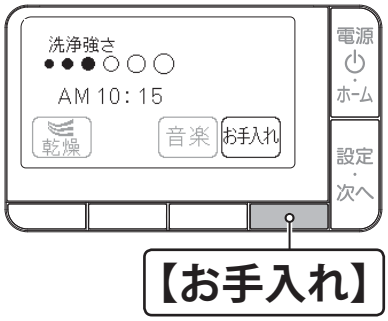
● 脱臭フィルターのお掃除

・脱臭効果が弱くなったら。**[ノズルを出す**（☞ 48 ページ）、**脱臭フィルターのお手入れ**（☞ 50 ページ）**]**

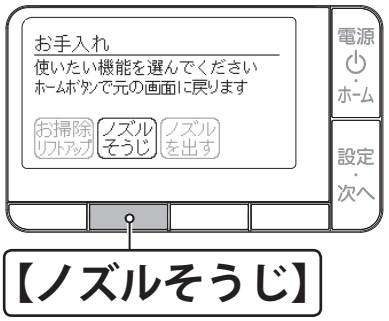
使用中（着座中）のノズル掃除［リモコンノズル洗浄］

使用中（着座中）にお好みでノズルを洗うことができます。

1 ホームの【お手入れ】を押す
※画面が「お手入れ」に切り替わります。



2【ノズルそうじ】を押す
※画面が「ノズル洗浄」に切り替わります。

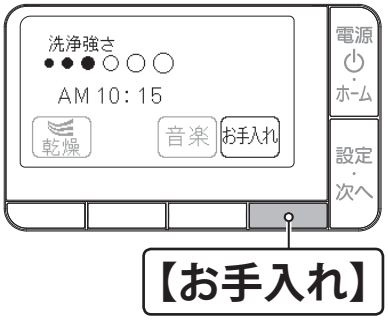


3【実行】を押す
※ノズルが本体に収納されたまま、約 15 秒間洗浄します。

❖オートクリーニング機能について
おしり・マイルド洗浄およびビデ洗浄の前後に、ノズルやその周辺を自動洗浄する**オートクリーニング機能**が付いています。

ノズルの伸ばしかた・シャッターの開きかた［ノズルを出す］

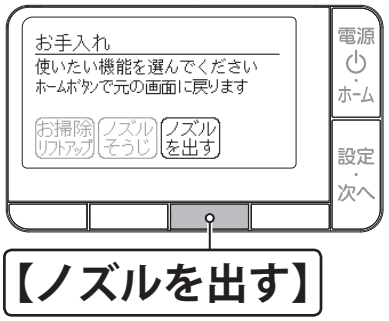
ノズルを伸ばしてお手入れや、先端の交換ができます。
ノズルシャッターを開いて、シャッターの取外し、脱臭フィルターの取外しができます。
※リフトアップした状態では作動しません。



1 自動洗浄とフルオート便座〈フルオート便座付の場合〉を「切」にする（☞ 29 ページ）
※「切」にしないと人を検知して、便座が閉じたり、勝手に水が流れる場合があります。
※お手入れ終了後、設定を元に戻してください。

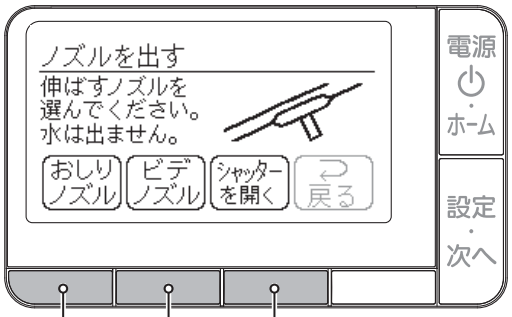
2 便フタ・便座を開く

3 ホームの【お手入れ】を押す
※画面が「お手入れ」に切り替わります。



4【ノズルを出す】を押す
※画面が「ノズルを出す」に切り替わります。

5 ノズルを出す・シャッターを開く
※画面スイッチのいずれかを押すと、それぞれの動作を行います。



おしりノズル・ビデノズル

※ノズルが伸び出ます。このときシャワーは噴出しません。
※伸び出たノズルをスポンジなどで掃除してください。
※ノズルの先端を取り換える場合は「ノズル先端の取替え」をご覧ください。（☞ 49 ページ）

シャッターを開く

※ノズルシャッターが開き、シャッターの取外しや脱臭フィルターの掃除ができます。
※「ノズルシャッターの取外し」「脱臭フィルターのお手入れ」をご覧ください。（☞ 50 ページ）

6【止】を押してノズル、ノズルシャッターを戻す
※万一、ノズルがシャッターに引っかかった場合は、再度ノズルを伸ばす操作を行ってください。

［注意］
- ノズルに強い力をかけないでください。
  ※故障の原因になります。
- ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。
  ※ノズルが引っ込まなくなり、故障の原因になります。もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10 秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。
- 歯ブラシでこすらないでください。
  ※キズが付く原因になります。

ノズル周りのお掃除

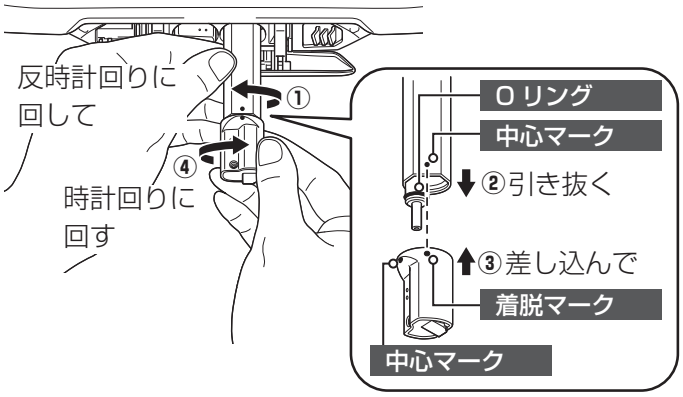
ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。
※別売品の購入方法については「別売品の購入方法」（☞ 74 ページ）をご覧ください。

ノズル先端の取替え

1 ノズルを伸ばす（☞ 48 ページ）

2「ノズル先端」を反時計回りに回して「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせ、引き抜く

※少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押さえて取り外してください。



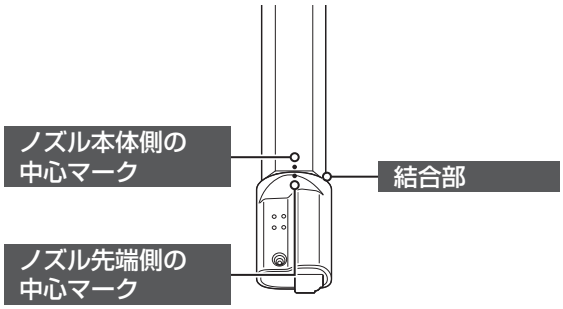
※ノズルが停止している間に新しいノズルに交換してください。
※ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズルを出す」の操作をしてノズルを出してください。（☞ 48 ページ）

3「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル端を動かなくなるまで時計回りに回す

※ノズルの奥側を手で押さえて取り付けてください。

[注意]
- ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。
- ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。
- O リングにキズを付けないよう注意してください。

4「結合部」を確認する



[注意]
- 取付後、ノズル本体側の中心マークとノズル先端側の中心マークが合っていることを確認する。
  ※故障する恐れがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまう恐れがあります。

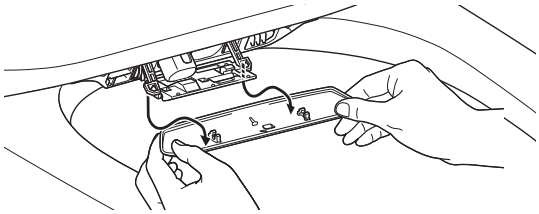
5【止】を押して、ノズルを戻す

※自動洗浄やフルオート便座を「切」にした場合は元に戻してください。

ノズルシャッターの取外し

1 ノズルシャッターを開く（☞ 48 ページ）
※ノズルが伸び出て、ノズルシャッターを開きます。

2 ノズルシャッターを両手で手前下方向に引っ張り、取り外す



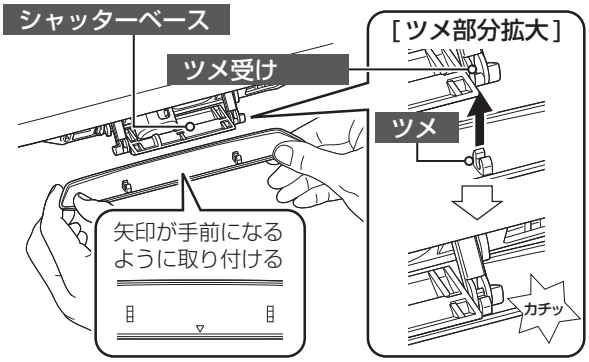
3 取り外したノズルシャッターを掃除する

● 柔らかい布で水ぶきしてください。

[注意]
● 乾いた布やトイレットペーパーでふかないでください。
● 歯ブラシでこすらないでください。
※キズが付く原因になります。

ノズルシャッターの取付け

1 ノズルシャッターのツメ（2 ヵ所）をシャッターベースのツメ受けに、下から取り付ける
※シャッターベースが閉じている場合は「ノズルシャッターを開く」の操作をしてください。
※自動洗浄やフルオート便座を「切」にした場合は元に戻してください。



2【止】を押してノズルシャッターを戻す

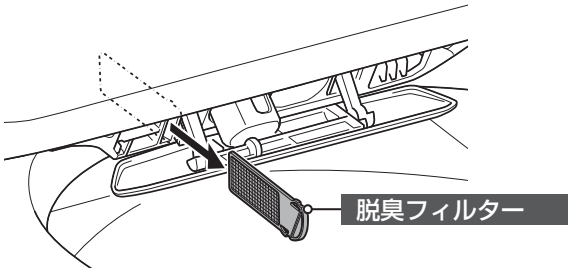
[注意]
● “カチッ”と音がするまで押し込んでください。
また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
● シャッターには、上下の向きがあり、誤った向きで取り付けると、ノズルが伸びない、シャッターが開かないなど誤作動の原因になります。
● 無理な力を加えないでください。
※破損する恐れがあります。

脱臭フィルターのお手入れ

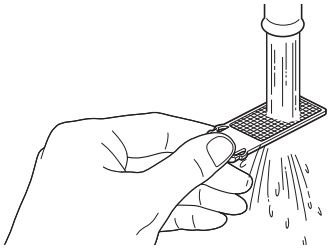
「脱臭フィルター」にホコリなどが付着すると十分な脱臭ができなくなります。においが気になりだしたら、お手入れしてください。

1 ノズルシャッターを開く（☞ 48 ページ）
※ノズルが伸び出て、ノズルシャッターを開きます。

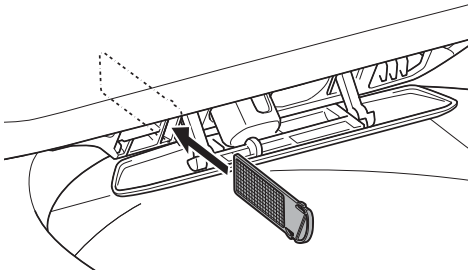
2「脱臭フィルター」を取り外す



3「脱臭フィルター」を水洗いし、ホコリなどを取り除く



4「脱臭フィルター」を乾燥させ取り付ける



5【止】を押してノズルシャッターを戻す
※自動洗浄やフルオート便座を「切」にした場合は元に戻してください。

■ 再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 10 ページ）

❖脱臭フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるときは
シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。
脱臭フィルターのお手入れをしてもにおいが気になるようでしたら、部品の交換を依頼してください。
（☞ 71 ページ）

部屋暖房フィルターのお掃除〈部屋暖房付の場合〉

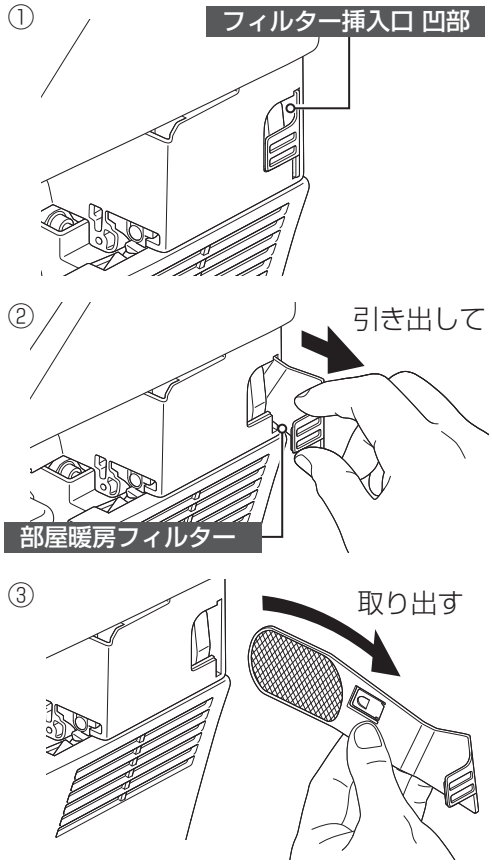
この機能のついていない機種があります。
15 ページの「機能の紹介」にてご確認ください。

空気取入口の「部屋暖房フィルター」がホコリなどで詰まると能力が低下します。使用期間中は 1 ヶ月に 1 回程度掃除をしてください。

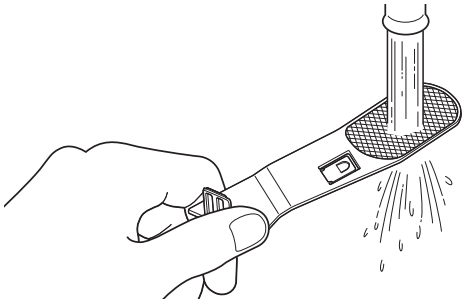
お掃除は使用期間中 1 ヶ月に 1 回程度

1 本体を浮かせる（☞ 45 ページ）
2 電源プラグをコンセントから抜く
3 本体向かって右側面にある「フィルター挿入口」から「部屋暖房フィルター」を引き抜く

※ フィルター挿入口の凹部に指をかけ、部屋暖房フィルターを半分ほど引き出し、下方向に取り出します。

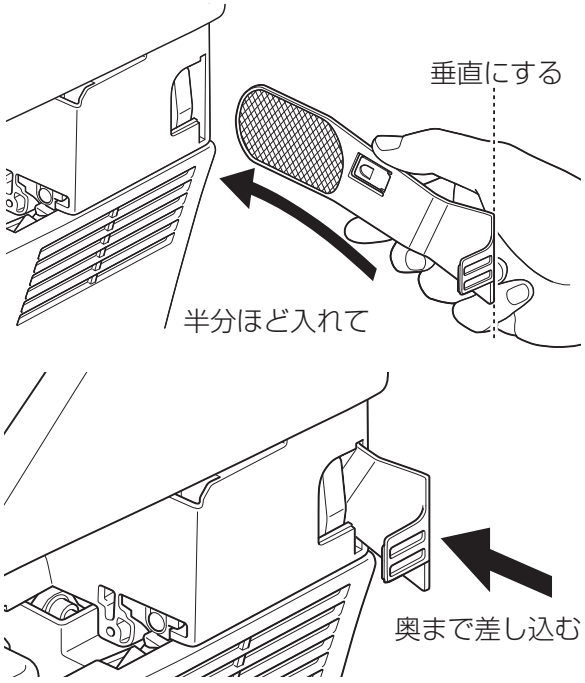


4「部屋暖房フィルター」を水洗いし、ホコリなどを取り除く



5「部屋暖房フィルター」を乾燥させる
6「部屋暖房フィルター」を「フィルター挿入口」に奥まで差し込む

※ 下方向から半分ほど入れ、奥まで差し込みます。



7 奥まで差し込まれていることを確認する
8 電源プラグをコンセントに差し込む

※ 本体が自動で戻ります。

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 10 ページ）

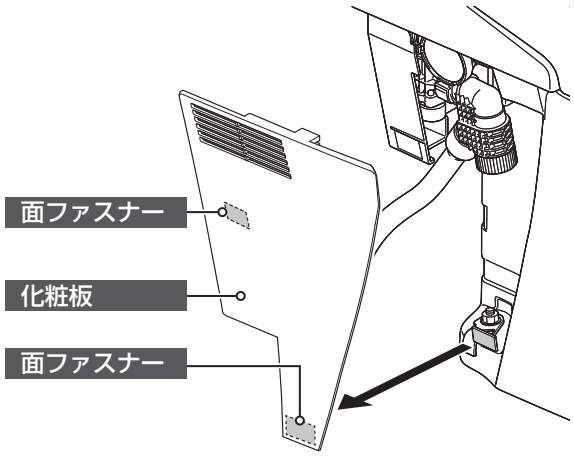
［注意］
●「部屋暖房フィルター」を外したまま、使用しないでください。
※ 故障や発煙、においを発する原因となります。

化粧板の外しかた

化粧板は、簡単に外すことができます。便器後方や隠れた床などを掃除するときに外してください。

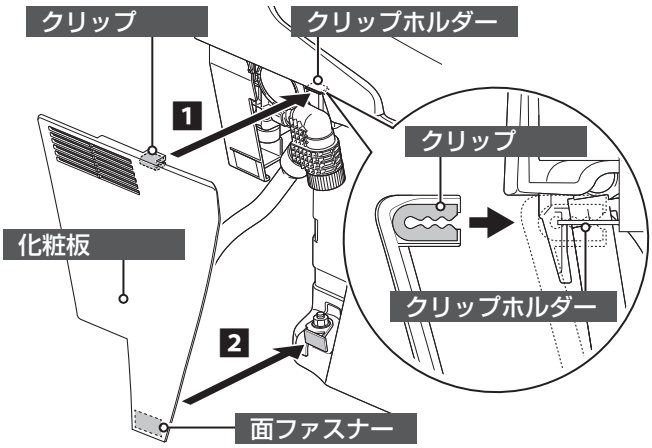
化粧板の外しかた

1 電源プラグをコンセントから抜く
2 化粧板の下側をゆっくり横に引っ張り、「面ファスナー」を便器から外す

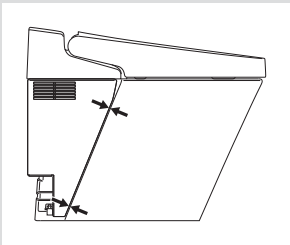


化粧板の組み付けかた

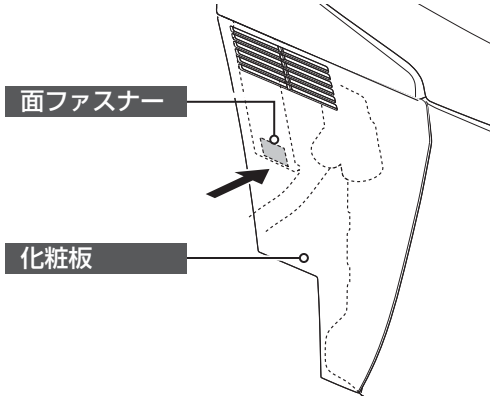
1 化粧板上側の「クリップ」を便器の「クリップホルダー」に差し込む
2 便器と化粧板のラインを合わせるようにして、下側の「面ファスナー」に取り付ける



[注意]
●便器と化粧板のラインを合わせながら面ファスナーを取り付けてください。



3 化粧板の中央を押して、「面ファスナー」をしっかり固定する



4 電源プラグをコンセントに差し込む

[注意]
●化粧板を組み付ける際には、無理にはめ込まないようにしてください。破損する恐れがあります。

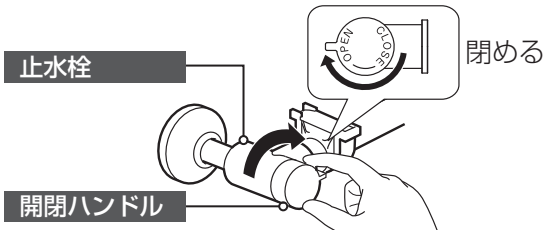
シャワーが弱くなったら

長期間使用して便器洗浄やシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては 2 年に 1 回程度です。）

ストレーナーのお掃除のしかた

1「止水栓」を閉めて、給水を止める

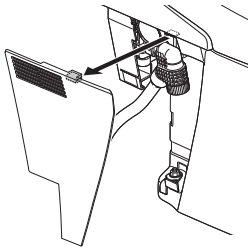
※開閉ハンドルが回しにくい場合は、乾いた布などでつかんで回してください。



2 流す「大」または本体の洗浄ボタンを押す。
（☞ 21 ページ）

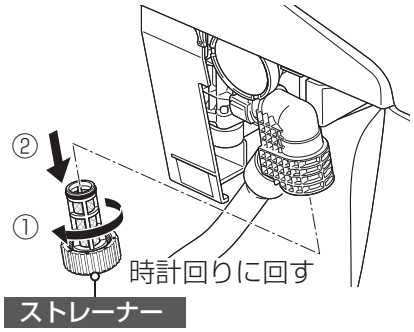
※20 秒程度時間をあけてください。
※内部にたまっている水と圧力を抜きます。

3 本体向かって左側面の化粧板を外す
（☞ 52 ページ）



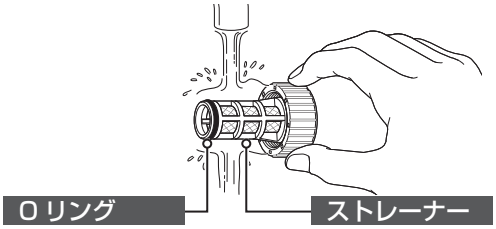
4 本体向かって左下の「ストレーナー」を回して外す

※このとき少量の水がこぼれますので、布などを下に置いてください。

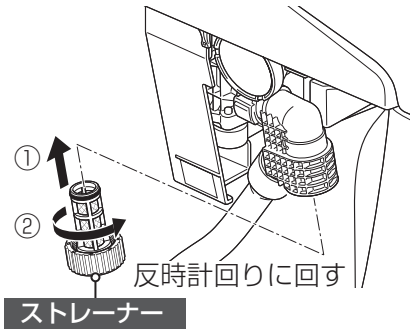


[注意]
●ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

5「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く



6「ストレーナー」をしっかり締め付ける



[取付時の注意]
●ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

7 化粧板を取り付ける**（☞ 52 ページ）**

8「止水栓」を全開にする

9 止水栓部から水漏れしていないか確認する

■再び使用するとき
必ずご使用前の準備と確認を行ってください。
（☞ 10 ページ）

⚠注意

指示実行

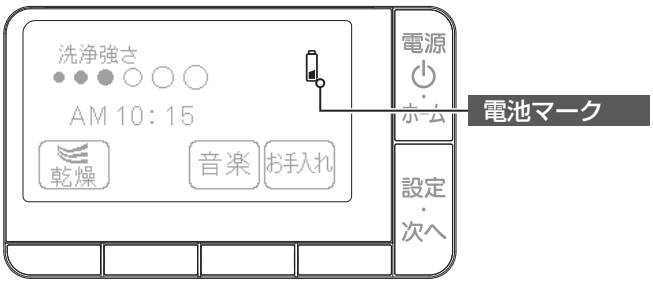
●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉め、洗浄ボタンを押す。
●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。

※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

リモコンの電池マークが点灯したら / 電源プラグ（漏電保護機能付）の点検

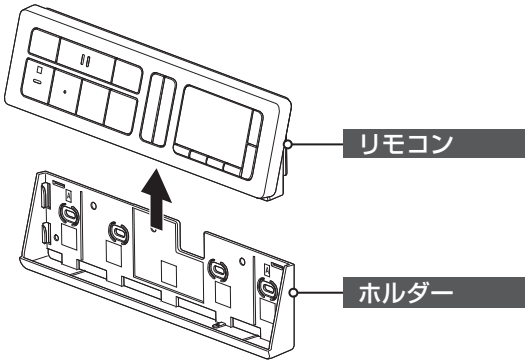
電池消耗により、ホーム画面の「電池マーク」が点灯します。（☞ 33 ページ）

[注意]
- 電池のプラスとマイナスの向きをリモコン表示通り正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- アルカリ乾電池を使用してください。
- 電池交換時は、リモコンのスイッチに触れないように注意してください。



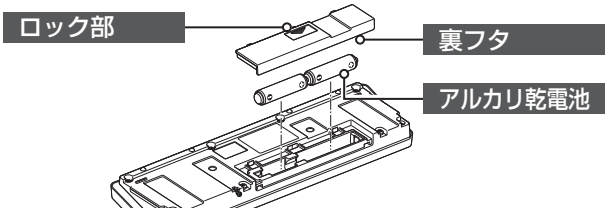
リモコンの電池交換

1「リモコン」を上に持ち上げて、「ホルダー」から外す



2「裏フタ」を外し、新しい「乾電池」（1.5V アルカリ単三形、2 本）に取り替える

※ 裏フタが外しにくい場合は、マイナスドライバーなどの工具にてロック部を解除して外してください。



3「裏フタ」を元通りにはめ、「リモコン」を「ホルダー」に上から差し込む

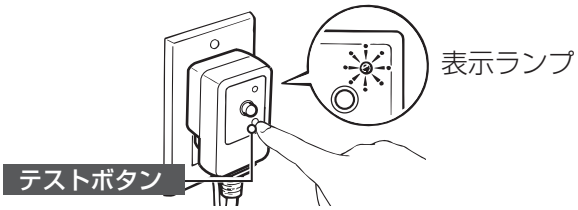
（参考）
- 「電池マーク」は電池が消耗したときのみ点灯します。通常は表示されません。
- 付属の電池は施工時の動作チェック用のため、一般に市販されている電池に比べ寿命が短い場合があります。
- リモコンの電池を外すと画面に縦線が入る場合がありますが故障ではありません。電池を入れると画面は元に戻ります。

電源プラグ（漏電保護機能付）の点検の目安は月に 1 ～ 2 回程度

電源プラグには漏電保護機能が付いています。電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。

1 電源プラグの「テストボタン」を押して、「表示ランプ」が点灯することを確認する

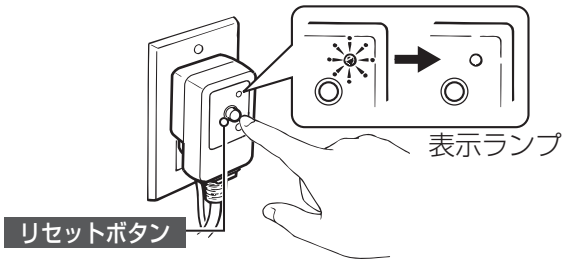
※ 本体が電源「入」の状態で行ってください。



2「電源表示」の消灯を確認する

● 洗浄ボタン（表示部）

3「リセットボタン」を押して、「表示ランプ」が消灯することを確認する



※ この点検を行うと、ワンタッチ節電およびルームリフレ、部屋暖房〈部屋暖房付の場合〉の設定が解除されます。再度セットし直してください。

修理を依頼する前に

簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目を確認ください。
確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。
※「★」マークは、壁リモコン以外をご使用される場合の参照先です。お使いのリモコンの取扱説明書をご覧ください。

全機能

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
すべての機能が動作しない（電源表示が点灯しない）	電源コンセントに電気がきていますか。	停電、ブレーカーなどを確認します。	―
	電源が「切」（電源表示消灯）になっていませんか。	【電源】を押して、洗浄ボタン（表示部）の電源表示を点灯させます。	10 ★ご使用前の準備
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。電源プラグを差し直すときは、10秒程度時間をあけてください。	10
	漏電していませんか。 （電源プラグの表示ランプが点灯している。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	54
	100V 以外の電圧がかかっていませんか。	**電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	―
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源表示は点灯している）	リモコンの電池が消耗していませんか。（電池マーク点灯*）	新しい電池に交換します。	54 ★リモコンの電池交換
	リモコン内の電池の⊕⊖の方向が間違っていませんか。	正しい方向に入れます。	54 ★リモコンの電池交換
	シャワートイレやリモコンの近くに金属物を置いていませんか。	金属物を移動してください。	―
	同梱以外のリモコンを取り付けていませんか。（シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。）	リモコンの登録をし直してください。	8
	インテリアリモコン、スマートリモコンの場合、リモコンの送信部、または受光部を体でさえぎっていませんか。	リモコンをホルダーから外し、リモコンの送信部を受光部に向けて【止】を押してください。 「ピー」という音が鳴った場合は、商品の異常ではありません。	―
	インテリアリモコン、スマートリモコンの場合、リモコンの送信部、または受光部が汚れているか、水が付いていませんか。	汚れや水を取り除きます。	―

全機能（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
リモコンのスイッチを押しても動作しない（電源表示は点灯している）	インテリアリモコン、スマートリモコンの場合、インバーター照明を使用していませんか。	照明を消して動作を確認してください。 正常に動作した場合は、商品の異常ではありません。	ー
	インテリアリモコン、スマートリモコンの場合、リモコンの受光部に太陽光が当たっていませんか。	太陽光が直接当たらないようにしてください。	ー
	インテリアリモコン、スマートリモコンの場合、リモコンの液晶部に「OFF」と表示されていませんか。	【電源】を押して、リモコン電源を「ON」にします。	ー
	スマートフォンと通信中ではありませんか。	スマートフォンとの通信を切断します。	31

＊：インテリアリモコン、スマートリモコンの場合、リモコンが受光部と反対側の壁に設置してあると、電池ランプまたは電池マークが点滅する前に使用できなくなる場合があります。

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出ない	止水栓が閉じていませんか。	開閉ハンドルを反時計回りに 180°回します。	10
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	53
	水道圧が低くないですか。洗浄強さが最弱付近になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	18
	着座センサーが検知していますか。	便座に座ってください。	33
	シャワートイレへの給水温度が高くなっていませんか。	故障ではありません。配管凍結防止ヒーターなどにより給水温度が約40℃以上になった場合、配管内の高温水が抜けるまでシャワーが出ないことがあります。この場合は便器洗浄などをして配管内の高温水を抜き、もう一度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。またこの現象が繰り返し起こる場合には、配管凍結防止ヒーターなどの使用方法を見直してください。	ー
	便器洗浄中ではありませんか。	故障ではありません。便器洗浄を優先しています。便器洗浄終了後、再度おしり・ビデなどのスイッチを押してください。	18

おしり洗浄・マイルド洗浄・ビデ洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
シャワーが出るまでに時間がかかる	シャワートイレへの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。給水温度が低い冬期など温水を出す準備をするために、シャワーが出るまでの時間が長くなることがあります。	―
以前使用していた機種よりも、シャワーが出るまでに時間がかかる	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーが出るまでの時間が長くなる場合があります。 製品の特性であり、故障ではありません。		―
シャワーが温かくない	温水温度が適当な温度に調節されていますか。	温水温度を適当な温度に調節します。	13 ★ご使用前の準備
	シャワートイレへの給水温度が低くなっていませんか。	故障ではありません。 冬期など給水温度が低くなると、温水温度が少し低くなる場合があります。	―
シャワーがうまくあたらない	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーのあたる位置に違いが感じられる場合があります。 製品の特性であり、故障ではありません。		―
シャワーが弱い	洗浄強さが弱になっていませんか。	洗浄強さの【+】を押します。	18
ノズルシャッターが外れている（グラついている）	掃除中にブラシなどで引っ掛けて落としていませんか。	ノズルシャッターを正しく取り付けます。	50
ノズルそうじが作動しない	本体をリフトアップした状態で「ノズルそうじ」の操作していませんか。	本体を元に戻した状態で「ノズルそうじ」の操作をしてください。	45
	止水栓が閉じていませんか。	開閉ハンドルを反時計回りに 180°回します。	10
シャワーの向きがおかしい	ノズル先端の向きが正しいですか。	ノズル先端を正しい向きに取り付けてください。	49
シャワー使用時にモーター音がする	故障ではありません。 シャワー水を噴出させるためのポンプが動いている音です。 洗浄モードや洗浄強さによって音が異なります。		―
以前使用していた機種よりも、シャワーが強いまたは弱い	他機種からの買い換えの場合、交換前のものと製品の構造が異なるため、交換前のものに比べてシャワーが強く感じられる、または弱く感じられる場合があります。 製品の特性であり、故障ではありません。		―

暖房便座

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座が暖かくない	便座温度が適当な温度に調節されていますか。	便座温度を適当な温度に調節します。	13 ★ご使用前の準備
	節電中ではありませんか。	節電を解除します。	25 ★節電
	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。1 時間以上検知し続けると暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座を掃除してください。	43
	鉢内除菌が作動していませんか。	故障ではありません。使用条件により温度ムラを感じることがあります。鉢内除菌を解除して様子を見てください。	23 ★鉢内除菌
長く座っていると便座がぬるくなる	便座ヒーターオート OFF 機能が働いていませんか。	便座ヒーターオート OFF 機能を解除します。	29 ★お好みの設定に
	1 時間以上便座に座っていませんか。	1 時間以上座り続けると、暖房便座が自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり、座り直してください。	―
便座の側面が冷たい	便座の暖房機能は、便座上面を暖めることを目的としているため、側面に触れると冷たく感じることがあります。製品の特性であり、故障ではありません。		35

部屋暖房〈部屋暖房付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
部屋が暖かくない	暖房温度が「低」になっていませんか。	暖房温度を「高」にします。	13 ★部屋暖房
	フィルターにホコリなどが詰まっていませんか。	フィルターの掃除をします。	51

脱臭

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
脱臭ファンが回りっぱなしになる	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。便座を掃除します。	ー
	鉢内除菌が作動していませんか。	故障ではありません。 鉢内除菌は 45 分 ON、15 分 OFF の断続運転をします。脱臭ファンは脱座後 1 分間動作します。	23
	部屋暖房が作動していませんか。 〈部屋暖房付の場合〉	部屋暖房の吹出口から風が出ている場合、このファンの作動音であって、脱臭ファンの作動音ではありません。	26
脱臭ファンが回らない	自動脱臭が「切」にセットされていませんか。	脱臭を「入」にセットします。	29 ★お好みの設定に
	便座が水で濡れていたり汚れていたりしませんか。	着座センサーが誤検知する場合があります。2 時間以上検知し続けると脱臭ファンが自動的に「切」の状態になります。便座を掃除したり、便座から一度立ち上がり、座り直してください。	ー
	2 時間以上便座に座っていませんか。		
脱臭効果が弱くなった（においが気になる）	脱臭フィルターにホコリなどが付着していませんか。	脱臭フィルターを掃除します。	50
	長期間使用していませんか。	シャワートイレ内部ににおいを吸収する部品が入っています。部品の交換を依頼してください。	71

便器洗浄

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
自動で便器洗浄しない	フルオート便器洗浄が「切」になっていませんか。	フルオート便器洗浄を「入」にします。	29 ★便器洗浄
水の流れが悪い・流れない または、汚物がよく残る	止水栓が十分開いていますか。	止水栓を全開にします。	10
	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	53
	給水ホースが折れていませんか。	LIXIL 修理受付センターへご連絡ください。	71

便器洗浄（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
水の流れが悪い・流れない または、汚物がよく残る	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	21
		1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	7
汚物が詰まる	トイレットペーパーをたくさん使用していませんか。	止水栓を閉めてから詰まりを解除してください。 ※ 意図せず自動洗浄を行い、便鉢から水があふれる恐れがあります。	ー
勝手に洗浄する	間欠流動が「入」になっていませんか。	間欠流動を解除します。	37
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。 大洗浄と小洗浄では約 1L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大きな違いはありません。そのままご使用ください。		ー
便器洗浄の音が機能部の交換前よりも大きい	交換前のものと製品の構造が異なります。交換前のものに比べて音が大きく感じられる場合があります。		ー

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便座・便フタがバタンと落ちる	電動開閉中に便フタを押さえませんでしたか。	もう一度【便座開 / 閉】を押し、電動開閉しない場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	ー
	市販の便フタカバー、便座カバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバー、便座カバーを外して使用してください。	ー
	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。	電源プラグを完全に差し込みます。 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。	10
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	フルオート便座が「切」になっていませんか。	フルオート便座を「入」にします。	29 ★フルオート便座
	市販の便フタカバーが重い、または引っ掛かっていませんか。	便フタカバーを外して使用してください。	ー
	便フタが正しく取り付けられていますか。	便フタを正しく取り付けます。	44

フルオート便座・便座電動開閉〈フルオート便座付の場合〉（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便フタが自動開閉しない または便座が電動開閉しない	便フタを手動で閉めていませんか。	手動で便フタを閉じると約 10 秒間は自動で便フタは開きません。	ー
	室温が 30℃を超えていませんか。	室温 30℃を超える場合や直射日光などで作動しにくい場合があります。	ー
	人体検知センサー（上）が汚れていませんか。	センサー部を、柔らかくきれいな布でふきます。	34
便フタが開きっぱなしになっている、または、人がいなくても開閉を繰り返している	直射日光が直接センサーに当たっていませんか	直射日光が当たらないようにしてください。	ー
便フタが開きっぱなしになっている	ルームリフレが作動していませんか。	故障ではありません。 設定時間に便フタを開いてプラズマクラスターイオンを放出して、トイレ空間をリフレッシュします。	24
便座を自動で開く際、勢いよく開いて、便フタにあたる	故障ではありません。 便座が倒れてこないようにしっかりと開くためです。		ー
以前使用していた機種よりも、動作音が大きい	他機種からの買い換えの場合、以前のものと製品の構造が異なるため、動作音が大きいと感じられる場合があります。製品の特性であり、故障ではありません。		ー

温風乾燥

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
温風が出ない	着座センサーが検知していますか。	便座に座ってください。	33
温風が暖かくない	温風乾燥が適当な温度に調節されていますか。	温風乾燥を適当な温度に調節します。	13 ★温風乾燥
	使用条件により温度の感じ方に差がでる場合があります。温風温度は国際電気標準会議 (IEC) 基準に準拠しています。 (IEC:International Electrotechnical Commission)+		ー
温風が途中で止まる	4 分以上使っていませんか。	もう一度、ホームの【乾燥】を押します。	20 ★温風乾燥

リラックスミュージック〈リラックスミュージック付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
音が出ない	オート音楽再生を「切」にしていませんか。	オート音楽再生を「入」にします。	27 ★リラックスミュージック
	便座に 2 時間以上座っていませんか。	2 時間以上座り続けると、リラックスミュージックが自動的に「切」の状態になります。便座から一度立ち上がり座り直してください。	ー

お掃除リフトアップ

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
リフトアップ下降時に本体が降りきらない	本体と便器の間に異物が入っていませんか。	異物を取り除いてください。	ー

鉢内除菌

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
鉢内除菌が動作しない	鉢内除菌を「切」にしていませんか。	鉢内除菌を「入」にします。	23
	フルオート便座を「切」にしていませんか。 〈フルオート便座付の場合〉	便フタが閉じた状態のとき動作します。フルオート便座を「入」にします。	
	便フタが開いた状態になっていませんか。	便フタが閉じた状態のとき動作します。手動で便フタを閉めます。	

ルームリフレ（ルームリフレ付の場合）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
ルームリフレが動作しない	ルームリフレを「切」にしていませんか。	ルームリフレを「入」にします。	23
	フルオート便座「切」の設定で、便座を閉じたままの状態にしていませんか。	フルオート便座を「入」にします。	29
	動作開始時間に使用中ではありませんか。	動作開始時間に使用していると、その日は作動しません。翌日以降は再び作動します。	24
ルームリフレが途中で止まる	動作中に何か操作をしていませんか。	動作中に操作をすると、動作停止し、その日は作動しません。翌日以降は再び作動します。	ー

スマートフォン操作〈スマートフォン操作付の場合〉

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
スマートフォンの初期設定ができない	トイレと他のスマートフォンとがすでに通信されていませんか。	トイレと他のスマートフォンとがすでに通信されている場合は、一度通信を切る必要があります。 1台のトイレと同時に通信できるスマートフォンは1台のみです。 すでに他のスマートフォンと通信されているかもしれませんので、念のためにトイレに備え付けのリモコンの「止」スイッチを押して、他のスマートフォンとの通信を切ってから、再度アプリを起動してください。	32
スマートフォンで通信ができない	シャワートイレの近くに金属物を置いていませんか。	金属物を移動してください。	ー
	アプリを起動したときに、他のトイレを選択していませんか。	通信を開始するときに、トイレから「ピピピ」と音が鳴っていることを確認してください。	32
スマートフォンで通信ができない。アプリを起動したが、トイレを操作できない	初期設定していますか。	以下の場合は初期設定が必要です。初期設定をしてください。 ・初めてアプリを使うとき。 ・スマートフォン（携帯端末）を交換したとき。 ・違うトイレで使用するとき。	31
	スマートフォン（携帯端末）を買い替えましたか。	新しいスマートフォンに「My SATIS」アプリをダウンロードして、本体と新しいスマートフォンの初期設定をすれば使用できます。ただし、蓄積されたデータ（水道料金、ヘルスアプリ）は削除されます。	ー
	トイレと他のスマートフォンとがすでに通信されていませんか。	トイレに備え付けのリモコンの「止」スイッチを押して、他のスマートフォンとの通信を切ってから、再度アプリを起動してください。	32
	フタが閉じていませんか。	フタが閉じているトイレとはスマートフォンとの通信はできないようになっています。 一度アプリを閉じ、便フタをあけてから、再度アプリを起動してみてください。	31
	Bluetooth® が OFF になっていませんか。	Bluetooth® が OFF のままでは、トイレを操作できません。 アプリを起動したときに「Bluetooth® を ON しますか」というメッセージが表示されたときは、「はい」を選択してください。	32

便器（陶器部）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器が詰まった	ラバーカップを使用し、詰まりを取り除きます。 止水栓を閉めてから詰まりを取り除いてください。自動洗浄で意図せずに水が流れ、便鉢から水があふれる恐れがあります。		6
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	トイレットペーパーを多めに流していませんか。	女性の小用で紙をたくさん使用された場合、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご使用ください。	21
		1 度に流すトイレットペーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	7
小便がはね返る	洋風便器で立小便をする場合、小便がはねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。便器奥側をねらうよりも、水面の中央をねらったほうが小便の飛散を軽減できます。また、座ってご使用いただければ、より小便の飛散は軽減できます。着座した姿勢で小便をする場合、着座位置や小便をする方向によっては、はね返ることがあります。着座位置をずらすか、トイレットペーパーを敷いていただければ、はね返りは軽減できます。		35
床がぬれている（便器表面や止水栓がぬれている）	水温と室温の差が大きく、結露が発生し水滴が垂れた可能性があります。	換気扇や、窓を開けると結露を軽減できます。	35
床がぬれている（便器表面や止水栓はぬれていない）	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	床をふいてしばらく様子をみてください。それでも床がぬれている場合は、**コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。**	ー
便器を洗浄すると「ゴボゴボ」と音がする	故障ではありません。 汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気管などを設置することで軽減できます。工事された業者さまへご相談ください。	ー
便器洗浄後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。 便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		ー
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。		ー
洗浄時に、洗浄した水がはねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水がはねる場合があります。		ー
用便時に水がはね返る（おつり）	便器に水たまりがあることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	着座位置をずらすか、あらかじめ、トイレットペーパーを浮かせてご使用いただけば軽減できます。	ー

便器（陶器部）（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器（陶器）にピンク色の汚れがある	空気中の微生物が、便器に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。微生物は水中や空気中に分布しており、健康な人に害を及ぼす細菌ではありません。	中性洗剤を使用して掃除してください。 繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。漂白剤を使うと除菌効果があります。	ー
便器（陶器）の中に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふき取ってください。	ー
便器の中に、赤いサビの付着物がある			
便器（陶器）を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器と金属が接触すると、便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。 キズではなく便器表面に付いている汚れと同じです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置した後、布でふき取ってください。 応急処置として、市販の研磨材入りトイレ用中性洗剤でも汚れを落とすことは可能です。 ※ ただし便器（陶器）のうわぐすりを削りとってしまうため、強くこすらないでください。また、継続的な使用は控えてください。	ー
子供の便が付着して落ちない	幼児や児童などの身長が低い方がご使用になると、着座位置が浅くなり、水面の外側に便が落ちて付着するため、便器洗浄しても落ちない場合があります。		ー
新品なのに便器の底が黄ばんでいる・汚れている	ほのかライトや照明器具の灯りによって、便器の影が底面に映るため、汚れのように見えることがあります。	ほのかライトや照明器具を消して、ご確認ください。	ー
バリウムが流れない	バリウムなど水に溶けにくく、重いものは1度の洗浄では流しきれない場合があります。	便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで細かくしたあと数回洗浄してください。	7

その他

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
便器下部、止水栓下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	―
便座裏に水滴が付着する	シャワーの飛び散りにより便座裏に水滴が付着した。	こまめにふき取ってください。また、深く腰掛けてご使用いただければシャワーの飛び散りが少なくなります。	―
本体から゛ググッ゛と音がする ● 電源プラグを差し込んだとき ● シャワーを止めたとき	故障ではありません。 シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。 洗浄強さの調節や洗浄位置の調節に異常がなければ問題ありません。		―
本体から「ジー、ジー…」と音がする	プラズマクラスターイオンが発生するときの音で、故障ではありません。（音の種類は変わることがあります。）使用環境により、音が大きく感じたり、聞こえにくく感じたりすることがありますが、プラズマクラスターイオンの効果は変わりません。		―
電源表示が点滅している	シャワートイレ本体に給水されていない。（断水、止水栓が閉まっているなど）	給水後、止水栓を開いて、試運転を行ってください。 それでも点滅する場合は、**電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	10
	いずれかの機能に不具合が生じている。	電源を「切」にしても点滅している場合は、**故障していますのでコンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。**	―
	給水ホースなど、配管に凍結防止ヒーターがついていませんか。	凍結防止ヒーターを「切」にしてください。 給水温度が 40℃を超えると安全装置が働き作動しなくなります。	―
点検表示が点灯している	点検時期が来ている。	点検時期ですのでお早めに点検をお受けください。	69
リモコンの「止」ボタンが点滅している	正常です。	消したいときは、止ボタンランプの設定を「切」にしてください。	29
● 便座がガタつく ● 便座裏側にある足が便器についていない	故障ではありません。 便座が上下する構造のため、便座の足と便器の間にすき間があります。 便座前足の片側のみが便器につく設計になっていますので、そのままご使用ください。		―
シャワートイレ本体と陶器のすき間が空いている	故障ではありません。 焼きものならではの個体差により、すき間が空いて見える場合があります。 そのままご使用ください。		―

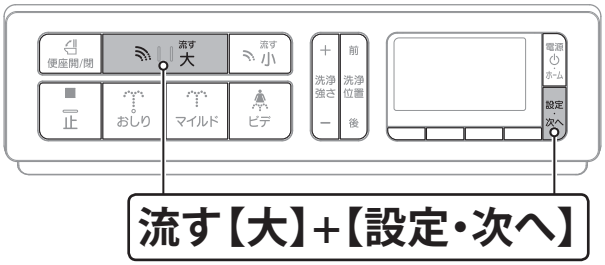
その他（つづき）

現　　象	原　　因	処　　置	ページ
漏水している	ストレーナーが緩んでいませんか。	ストレーナーを締めます。	53
	ストレーナーにゴミが付着していませんか。	ストレーナーを掃除します。	53
	湿度が高く 結露していませんか。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	―
便フタ・便座を開くと本体がガタつく	故障ではありません。 リフトアップ付の場合はリフトアップの動作のためにスキマを持たせた設計になっていますので、便フタ・便座を開くと本体が動きます。そのままご使用ください。		―
お買い上げ時の設定に戻したいとき	《便利な使い方》などで変更した機能を全てお買い上げ時の設定に戻します。	初期設定への操作を行います。	29
シャワートイレを使用すると、室内の照明がちらつく	故障ではありません。 シャワーを水から湯に暖めるときに、一時的に電力使用量が増えることで発生する場合があります。そのままご使用ください。		―
リモコン画面について	● 低温では画面に残像が出ますが故障ではありません。トイレ内を暖かくしてしばらく使用していると、元に戻ります。 ● 画面を切り替えるとき、5 回に 1 回は白と黒の画像が 1 度反転しますが故障ではありません。 ● リモコンの電池を外すと画面に縦線が入る場合がありますが故障ではありません。電池を入れると画面は元に戻ります。		―
ノズルシャッターが閉まらない	故障ではありません。 エアシールド脱臭、鉢内除菌、ルームリフレの動作中はノズルシャッターは開いています。必要に応じて設定を「切」にしてください。		―
便鉢内が青く光る	正常です。	消したいときは、青ライトの設定を「切」にしてください。	29

■洗浄水量の増やしかた

【流す 大】と【設定・次へ】を同じタイミングで 2 秒以上押します。

※ セット完了時、「ピッ」という音がなります。
　洗浄水量は大洗浄 6L、小洗浄 5L になります。



洗浄水量を元に戻す必要がある場合は、LIXIL 修理受付センターまでお問い合わせください。（☞裏表紙）

安全・安心にお使いいただくために

温水洗浄便座は電気製品のため、長期間ご使用いただくうちに経年劣化により事故に至る恐れがあります。
また、故障したままご使用を続けると製品事故に至る可能性がありますので、故障の場合はすぐにご使用を中止し、販売店、工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

1. セルフチェック項目

シャワートイレの日常的な安全点検は、ご自身でも行うことができます。
下記のチェック項目をもとに、定期的な点検をお願いいたします。
点検をしていただいても故障が直らない場合や調子が悪い場合は、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

温水洗浄便座セルフチェック表

製品を末長くお使いいただくために、下のチェック項目により、定期的な点検をお願いいたします。

セルフチェックを行う前に、シャワーや温風などの各機能が正常に作動するか確認してください。

1つでも該当する場合　次のような症状は、火災や感電、室内浸水の原因になります。
電源プラグを抜き止水栓を閉めて、直ちに販売店か工事店または LIXIL 修理受付センターまでご連絡ください。

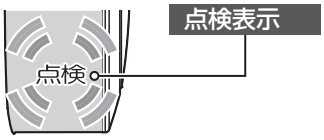
	点検目安※	実施日					
便座・便座コード 便座や本体、便座コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❶ 本体や便座にひびや割れがありませんか? ゴム足は外れていませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❷ 便座が異常に熱いときや冷たいときはありませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❸ 便座の開閉はスムーズですか?便座のガタツキはありませんか?	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
水漏れ 本体や止水栓まわりから水漏れしている状態で使用を続けると、火災や感電、室内浸水の原因となります。							
❹ 水漏れがありませんか? 同時に、不具合がないことを確認してください。	年2回以上	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
電源コード・電源プラグ 温水洗浄便座の電源コードに異常がある状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。							
❺ 電源コードが熱くなっていませんか?傷んだり、挟み込んだりしていませんか。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❻ シャワートイレ本体・電源プラグ・コードが故障(異臭・異音)していませんか?	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
❼ 電源プラグにほこりがたまっていませんか? はい □ → ほこりを取り除いてください。	月1回	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /
		/ /	/ /	/ /	/ /	/ /	/ /

※点検目安は当社おすすめの期間です。

セルフチェックを行う前に、本ページの温水洗浄便座セルフチェック表の部分をコピーしてお使いください。

2. 点検時期お知らせ表示（タイムスタンプ）について

製品のご使用を開始して約 10 年経過後に、点検表示が点灯します。
この表示は、お客さまにご安心してご使用いただくための機能であり、機器の故障ではなく、長年のご使用で製品が安全に使用されているか、また劣化や故障がないかを確認する点検時期がきたことをお知らせするものです。



当社では「おまかせ点検（有料）」をご用意しております。
この機会に、内部的な確認を含んだ点検をおすすめいたします。
※ お客さまの安心・安全を目的とした表示のため、お客さまによる操作ではこの表示を消灯することはできません。LIXIL トータルサービスのサービスマンによる「おまかせ点検（有料）」をお受けいただき、安全を確認した上で消灯いたします。
※ 詳しくは、お客さま相談センターへお問い合わせください。（TEL 0120-179-400）

3. 製品の長期使用に関する本体表示について

(本体への表示内容）

●経年劣化により事故に至る恐れがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦４桁で表示してあります。）

警告	**【想定安全使用期間】10 年** 想定安全使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。

（想定安全使用期間とは）

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で適正な取扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として想定されています。

この想定安全使用期間は無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を補償するものではありません。

■標準使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V・50/60Hz	機器の定格電圧・周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 による
	給水温度・給水圧	15℃・0.2MPa	JIS A4422 による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A4422 による
想定時間	４人家族（男性２人、女性２人）において、大便: 1 回 / 日･人、小便男性 : ４回 / 日･人、小便女性 : ４回 / 日･人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする。		JIS A4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

❖経年劣化について
「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（☞ 55 ページ以降）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合は、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から 2 年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■ 保証期間中の修理

修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

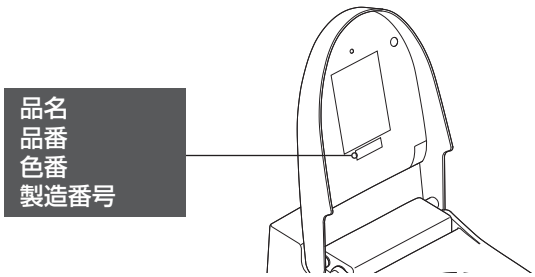
■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、
お客さまのご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料 + 出張料 + 部品代です。

■ 連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. 品名・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏または製品本体の表示をご覧ください。）
3. お取付日（保証書をご覧ください。）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日

※ ご登録などをされるときには、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。決してはがさないようにしてください。



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後、便器部が 10 年、それ以外（シャワートイレ機能部）は 6 年です。
点検・修理の申し込みの際にお問い合わせください。
保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。
※ 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

■ 負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検

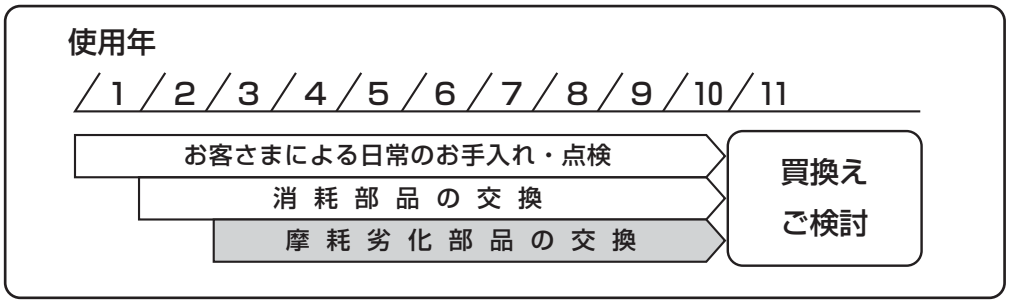
●**負圧破壊装置（バキュームブレーカー）の点検の目安は、取付けの日から６年後です。**

負圧破壊装置（バキュームブレーカー）が故障すると水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になりますので点検が必要です。定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

■ ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買い上げより３年たったもの

●**部品が摩耗・劣化すると水漏れなどの原因になりますので交換が必要です。**
●**摩耗劣化する部品の例**
例）止水弁、温水タンク、洗浄ノズル、便座、便フタ、スローダウン、脱臭ファンなど

〈定期的な点検・部品交換の目安〉



■ 温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

■ 長期間のご使用により点検ランプが点灯したら（☞ 69 ページ）

定期点検については、LIXIL 修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品についての使い方・お手入れ方法などのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

7. 商品についての修理・定期点検のご依頼は

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間9:00～20:00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

仕様

グレード				DV-S628T DV-S628 DV-S618	DV-S626T DV-S626 DV-S616	DV-S625T DV-S625 DV-S615
定格消費電力				1300W		
省エネ区分				瞬間式		
年間消費電力量 ※1				87kWh/ 年 （節電機能切時：113kWh/ 年）		
給水圧力	最低必要圧力			ブースター付：0.05MPa（13L/ 分 流動時）、0.15MPa 以上（静水圧） ブースターなし：0.07MPa 以上（17L/ 分 流動時）		
	最高水圧			0.75MPa（静水圧）		
使用温度範囲				0℃～ 40℃		
商品寸法				幅 375mm × 奥行 650mm × 高さ 523mm		
商品質量				ブースター付：約 36kg（機能部：約 14kg、便器部：約 22kg） ブースターなし：約 34kg（機能部：約 12kg、便器部：約 22kg）		
電源コード (電源接続方式)				有効長さ：1.0m（漏電保護機能、アースコード付）		
便器部	洗浄水量			ECO4：大洗浄 4L、小洗浄 3.3L、男子小洗浄 3.3L ECO5：大洗浄 5L、小洗浄 3.8L、男子小洗浄 3.8L ECO6：大洗浄 6L、小洗浄 5L、男子小洗浄 5L （ECO モード解除時：大洗浄 8L、小洗浄 6L、男子小洗浄 6L）		ECO4：大洗浄 4L、小洗浄 3.3L ECO5：大洗浄 5L、小洗浄 3.8L ECO6：大洗浄 6L、小洗浄 5L （ECO モード解除時：大洗浄 8L、小洗浄 6L）
	給水方式			水道直結式		
	便器洗浄方式			ダイレクトバルブ式		
	サイズ			大型		
	凍結防止	流動方式		流動水量：40L/h		
		ヒーター付便器方式	ヒーター容量	27W		
			安全装置	温度ヒューズ		
			電源コード長さ	1.5m		
機能部	洗浄	給水方式		水道直結式		
		給湯方式（タンク容量）		瞬間式		
		おしり吐水量		パワフル洗浄：0.43L/ 分（洗浄強さ：脈動方式による 6 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき		
				マイルド洗浄：0.45L/ 分（洗浄強さ：脈動方式による 6 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき		
		ビデ吐水量		0.45L/ 分（洗浄強さ：脈動方式による 6 段階調節） 供給水圧 0.2MPa のとき		
		温水温度		水温・約 32℃～ 40℃（計 6 段階切替）		
		ヒーター容量		1240W		
		安全装置		温度ヒューズ・高温検出サーミスタ・空焚き防止流量スイッチ		
	温風乾燥	風量		0.30m³/ 分		
		温風温度		室温・約 40℃～ 55℃（計 3 段階切替）		
		ヒーター容量		500W		
		安全装置		温度ヒューズ		
	鉢内除菌	風量		噴き出し・吸い込み風量：0.04m³/ 分		
		方式		プラズマクラスター技術による分解・除去方式（循環気流を利用）		
	ルームリフレ	風量		噴き出し・吸い込み風量：0.04m³/ 分		－
		方式		脱臭カートリッジによる化学吸着方式、プラズマクラスター技術による分解・除去方式		－
	暖房便座	表面温度		室温・約 28℃～ 36℃※2（計 6 段階切替） スーパー節電設定時：室温・約 27℃～ 30℃ ワンタッチ節電 (8h) 設定時：室温		
		ヒーター容量		48W		
		安全装置		温度ヒューズ		
	脱臭	脱臭方式		脱臭カートリッジによる化学吸着方式（循環気流を利用）		
		脱臭能力		噴き出し・吸い込み風量：0.04m³/ 分		
	部屋暖房	風量		0.3m3/ 分以上		－
		温風温度調節		低 (約 15℃)・高 (約 20℃)：2 段階切替		－
		ヒーター容量		320W		－
		安全装置		温度ヒューズ・サーモスタット		－
	音楽再生	出力・スピーカー		0.25W + 0.25W（ステレオ）・1W		－
		音楽圧縮方式・記憶媒体		0gg・本体メモリー内蔵		－
	スマートフォン通信	方式		Bluetooth®		
リモコン	壁リモコン	寸法		幅 260mm ×奥行 33mm ×高さ 73mm		
		電源		単三形アルカリ乾電池：2 本		
		通信方式		電波式		
		表示		電子ペーパー		
	スマートリモコン	寸法		幅 239mm ×奥行 29mm ×高さ 45mm		
		電源		単四形アルカリ乾電池：2 本		
		通信方式		赤外線式		
		表示		液晶		
	インテリアリモコン	寸法		幅 325mm ×奥行 130mm ×高さ 38mm		
		電源		単三形アルカリ乾電池：2 本		
		通信方式		赤外線式		
		表示		液晶		

※ 1：省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値。
※ 2：省エネに配慮して、便座温度は最高 36℃としております。使用環境によっては便座が冷たいと感じる場合があります。
トイレを使用しないときは便フタを閉じておくと便座の保温性が向上し、省エネ効果があります。

[注意] ●この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

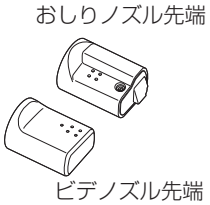
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

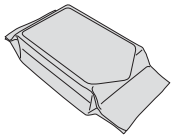
■ おしりノズル先端（品番：CWA-263）
■ ビデノズル先端　（品番：CWA-264）

汚れが気になるときに交換できます。ノズル先端をいつも清潔に保てます。（☞ 49 ページ）



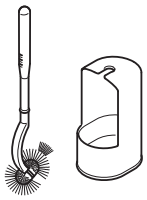
■ トイレ用おそうじティッシュ
（品番：CWA-36A-4SET）

プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。
（☞ 43 ページ）



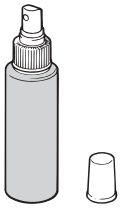
■ お掃除ブラシ（品番：CWA-48、CWA-48-A）

便器のアクアセラミック表面にキズを付けないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。
（☞ 46 ページ）
※CWA-48-A はケースが付きません。



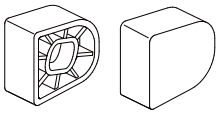
■ シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。
脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。
（☞ 43 ページ）



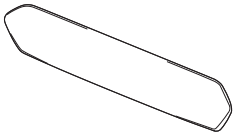
■ 便座ストッパー（品番：CWA-265）

便フタを外してご使用する場合にご購入ください。



■ ノズルシャッター（品番：CWA-262）

汚れが気になるときに交換できます。ノズルまわりをいつも清潔に保てます。
（☞ 50 ページ）



[注意]
● 便座ストッパーをご使用の際、スーパー節電機能、鉢内除菌機能およびフルオート便座機能は使用できませんので、ご了承願います。

別売品の購入方法

■ 直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

■ 宅配サービスをご利用される場合

宅配サービスでは送料が別途必要となります。
・お電話にてご注文いただく場合
LIXIL パーツショップ水廻り部品販売窓口へご連絡ください。
[ご注文フリーダイヤル]
電話番号　0120-126-015
受付時間　9：00 ～ 17：00（土・日・祝日・夏期・年末年始の休みは除く）
・インターネットにてご注文いただく場合
[ホームページアドレス]
http://inax.lixil.co.jp/aftersupport/sales/index.html
（インターネットではお取扱いしていない商品もございます。あらかじめご了承ください。）

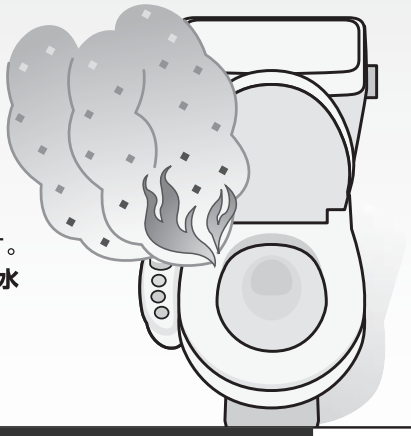
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、
定期的な点検（有料）をおすすめします。
また、**長期間（10年以上）ご使用の温水洗浄便座は買い替え**をご検討ください。
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。



故障したままで使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。
異常に気づいたら、**すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止**し、
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- □ 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある
- □ 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている
- □ 便座にひびや割れがある
- □ 製品から水漏れしている（内部の電子・電気部品が被水）
- □ 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている（内部の電子・電気部品が被水）
- □ 電源コードが熱くなっている
- □ 電源プラグの差込部が発熱・変色している
- □ 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある

一般社団法人 **日本レストルーム工業会** http://www.sanitary-net.com

※2015年4月より、（一社）日本衛生設備機器工業会と（一社）温水洗浄便座工業会が合併し、（一社）日本レストルーム工業会になりました。

商品のお問い合わせは
お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　9:00～18:00
土・日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL：0562-40-4050
FAX：0562-40-4053

修理のご依頼は
LIXIL修理受付センターへ

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9:00～20:00（365日受付）

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。
個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

年　月　日	損傷と処置	サービス担当者

株式会社 LIXIL
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

GCW-1356(16040)